

在伯同胞

活動実況大写真帳 (1)



38センチ×27センチ

在伯同胞
活動實況
大寫真帖



沢田大使



大日本帝國大使 澤田藤田閣下

樂土開拓
昭和十三年六月
澤田節彦

序

本アルバム刊行を私が發表致しますと同時に各方面から轟々たる讃辭と御聲援のお手紙が山の如く集つて居りますが、更にモストラを御覽になられた方々が、新聞廣告以上に徹底した立派なものだご激賞せられて居りますのは如何に本アルバムの内容が空前絶後のものたる事を如實に物語つて居ります。以下は各名士方より戴いた讃辭の一例であります。

コチャ産業組合専務理事下元健吉氏曰く

君の新聞廣告を見て相當なものだごは想像して居たが實物を見て廣告以上だご感心した。なほ是を母國の學校にでも贈れば教育上非常な參考資料になるであらう——

ご申されました。

移民の輸送監督として同航海中の バストス産業組合長 聖州日本人會副會長 元陸軍大佐脇山甚作氏曰く

航海中君が寢食を忘れて苦心撮影した事はよく承知して居るが其時の寫眞が今大アルバムとなつて現はれた事は御同慶に堪ない。折角の御奮勵を望む——ご激勵されました。

大日本帝國大使館並に總領事館各位より

良く出來た立派なものだ。是れは良い參考品だ——
ご激賞せられました。そして大使館並に總領事館用として大量の御注文を忝ふ致しました。

ブラジル拓殖組合 海外興業株式會社 各位より

是れは良い記念品だ、亦單に寫眞帖としてでなく邦人移民にとつては非常な參考品であるご信ずる——
ご申されました。

バストス移住地支配人 畑中仙次郎氏曰く

一頁一頁君の苦心を如實に物語つて居る。君なればこそ出來た仕事だ。恐らく空前絶後の物だと言つても過言ではなからう——
ごお賞になりました。

以上各位の讃辭激勵のお言葉を永久に記念する爲め是に掲載致しますと同時に謹んで感謝の意を表します。

瀬戸商店

株式會社 中尾肥料工場

カナカオ化學工業株式會社

著々成功しつゝある邦人農家

江口氏邸宅

千頭氏邸宅

津野氏の家庭

山崎氏の家庭

三谷氏の家庭と養鵝場

岩永氏の農園と家庭

矢野氏の家庭

中山氏の家庭

大阪商船株式會社

溝淵氏の家庭

渡壁氏の農園と家庭

長道氏の農園と家庭

草間氏の農園と家庭

宮井氏の農園と家庭

岡氏の農園と家庭

馬見塚氏の農園と家庭

藤岡氏の農園と家庭

淺野氏の農園と家庭

樺田氏の農園と家庭

船山氏の農園と家庭

中山氏の農園と家庭

吉原商會加工場

モジダス・クルーゼス邦人産業組合

谷米氏の農園と家庭

川里勝一氏の農場

筒井の農園

早川氏の農園と家庭

前川氏の農園と家庭

淵上氏の農園と家庭

吉田氏の農園と家庭

阿南氏の農園と家庭

人見氏の農園と家庭

佐藤氏の農園と家庭

伊藤氏の農園と家庭

長尾氏の農園と家庭

村上氏の農園と家庭

高木氏の農園と家庭

後藤氏のトマト畑と採集の實況

菊地氏の農園と家庭

大仁田氏の農園と家庭

坂本氏の農園と家庭

谷正氏經營のレストランテ

野元、濱崎両氏共營煉瓦工場

富永氏經營のボテキン・パール

平生氏の農場と家庭

村川氏の農場と家庭

梶浦、早川、共營農場と家族

桂原氏の農園と家庭

田井氏の農園と家庭

繩田氏の農園と家庭

草場氏の農園と家庭

岡田氏の農園と家庭

有村氏の農園と家庭

楠氏の農園と家庭

橋本氏の農園と家庭

手塚氏の農園と家庭

高田氏の農園と家庭

長澤氏の農園と家庭

松村氏の農園と家庭

三好氏の農園と家庭

土居氏の農園と家庭

板敷氏の農園と家庭

牧野氏の農園と家庭

川上氏の農園と家庭

有岡氏の農園と家庭

熱帯の海

バナマ運河

アルバム編纂者竹下氏

家庭及竹下増次郎氏

目次終

右上



(一頁) 主船で夜間の時の兵・予備中隊途中中隊・上船後舟中に兵と予備中隊に夜間の様子

右下



(二頁) 中隊途中中隊

左上



(三頁) 中隊途中中隊

左下

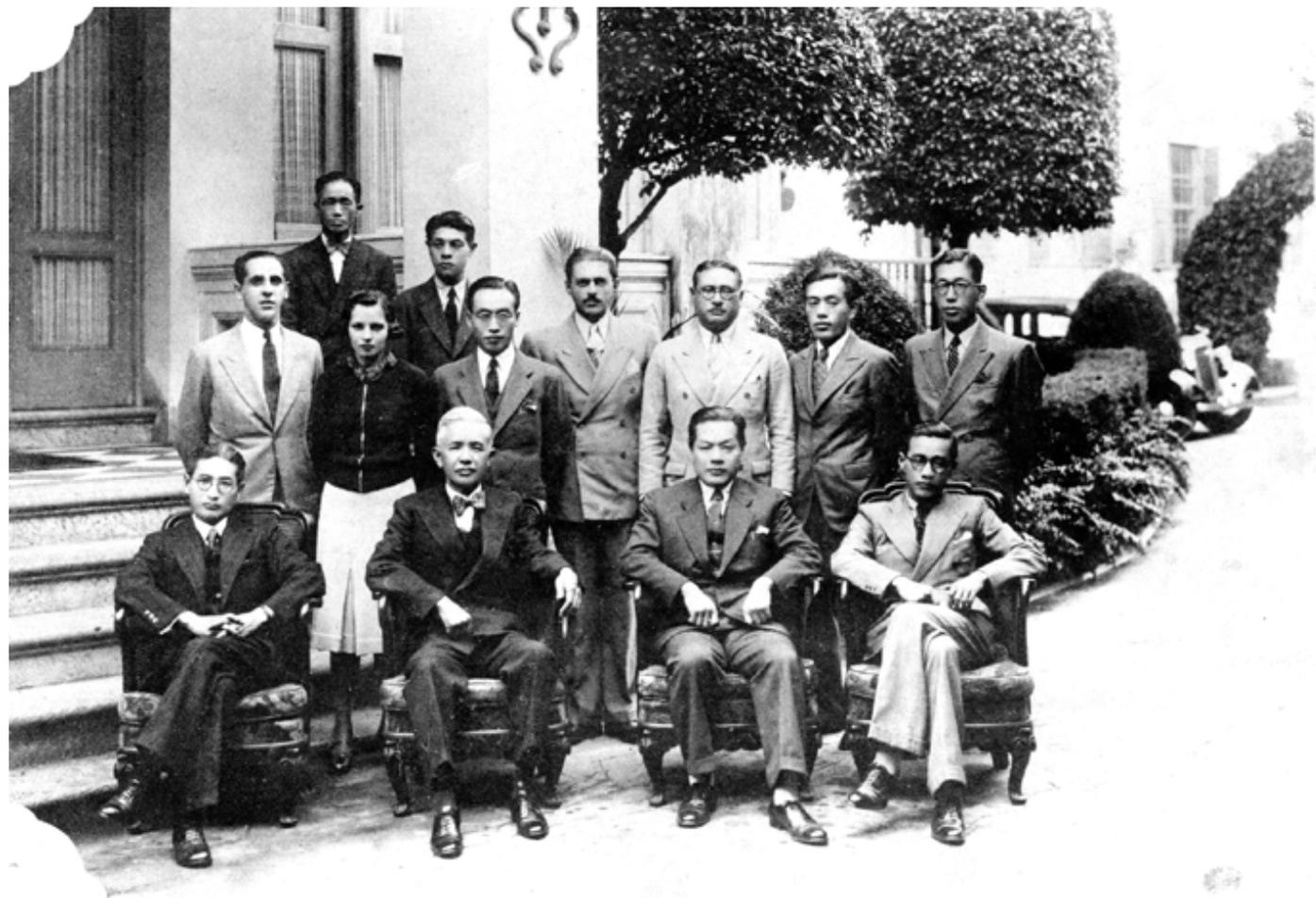


(四頁) 中隊途中中隊

(注・本写真帳はたいいてい各ページに四枚の写真が載っています。大判のため、右の例のようにそのまま本文庫に移すと、全体が小さくなり説明文がよめなくなります。そのため、原則として各ページに一枚、右上、下、左上、下の順序で収録してあります。原本の一ページが本文庫では四ページになります。ところどころに挿入された説明の文章は原本では白い薄い紙に印刷されています)



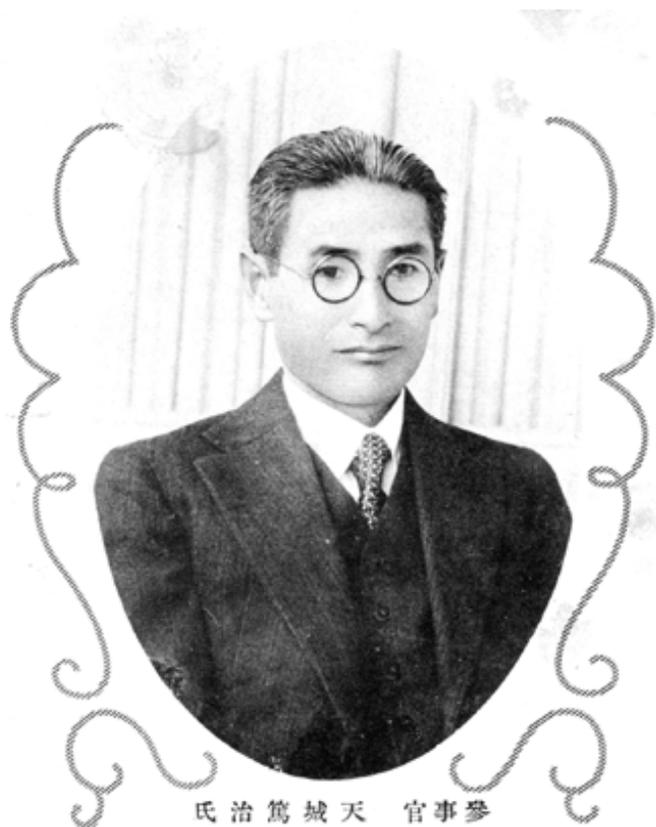
(五七街アリチツバ・アリタンルバ・市ロイネカジデオリ) 館使大國帝本日大



大日本帝國御所事務官等



領事小峯俊一氏



參事天城篤治氏



(四六三街ゴオフタボ・デ・ヤイラブ) 宅官下閣使大國帝本日大



我等同胞保護の重任を掌る大日本帝國總領事館
聖市ブリガデイロ・ルイス・アントニオ街

總領事館々邸内部と坂根準三閣下





大日本帝國サントス領事館



下関三準根坂 事領總



氏榮 條南 事領

本アルバム發行に際し、大使館より厚き御鞭撻の御言葉を忝し、特に御寫眞の謹寫を許され、猶且、在伯同胞の爲に、激勵の意味から大使自ら題字までお書き下さつた事は、誠に有難き極みであります。

亦、總領事館、領事館等よりも御寫眞の謹寫を許されたと共に、在伯同胞の爲に、特に總領事自ら御書き下さつた御筆蹟を賜り、深く感謝する次第であります。

- 海外興業株式會社 ●
- ブラジル拓殖組合 ●

母國東京に本社を有する海外興業株式會社と、ブラジル拓殖組合は我等同胞の恩義ある會社にして今尙密接なる關係を有し、出先官憲に次ぐ相談役としてサンパウロ市の中心に陣取つて居られます。

海興支店長宮腰氏は先アルゼンチン公使であり、現海外興業株式會社の重役であります。一方ブラ拓は最近銀行部を設け同胞の便利を計りつゝあるが、業務多端家屋狹隘を極め、近々聖市日本人町の一角に大ブラ拓ビルディング十二階を建てる豫定であります。兩社共國家的使命の見地から、實になくてはならぬ重大な存在であります。



移民の親たるべき海外興業株式会社ブラジル支社



長店支國伯社會式株業興外海
氏太葉千腰宮

海外興業株式會社事務所の一部





ブラジル拓殖組合業務担当組合員
加藤好之氏

我等移民とは深き關係を有する
聖市ブラジル拓殖組合本部（アニータ・ガルバルヂ街）

(二ノ地番七目丁一町手大西區町麴京東) 社會式株業產南日



日南産業株式會社常務取締役
宮坂國人氏

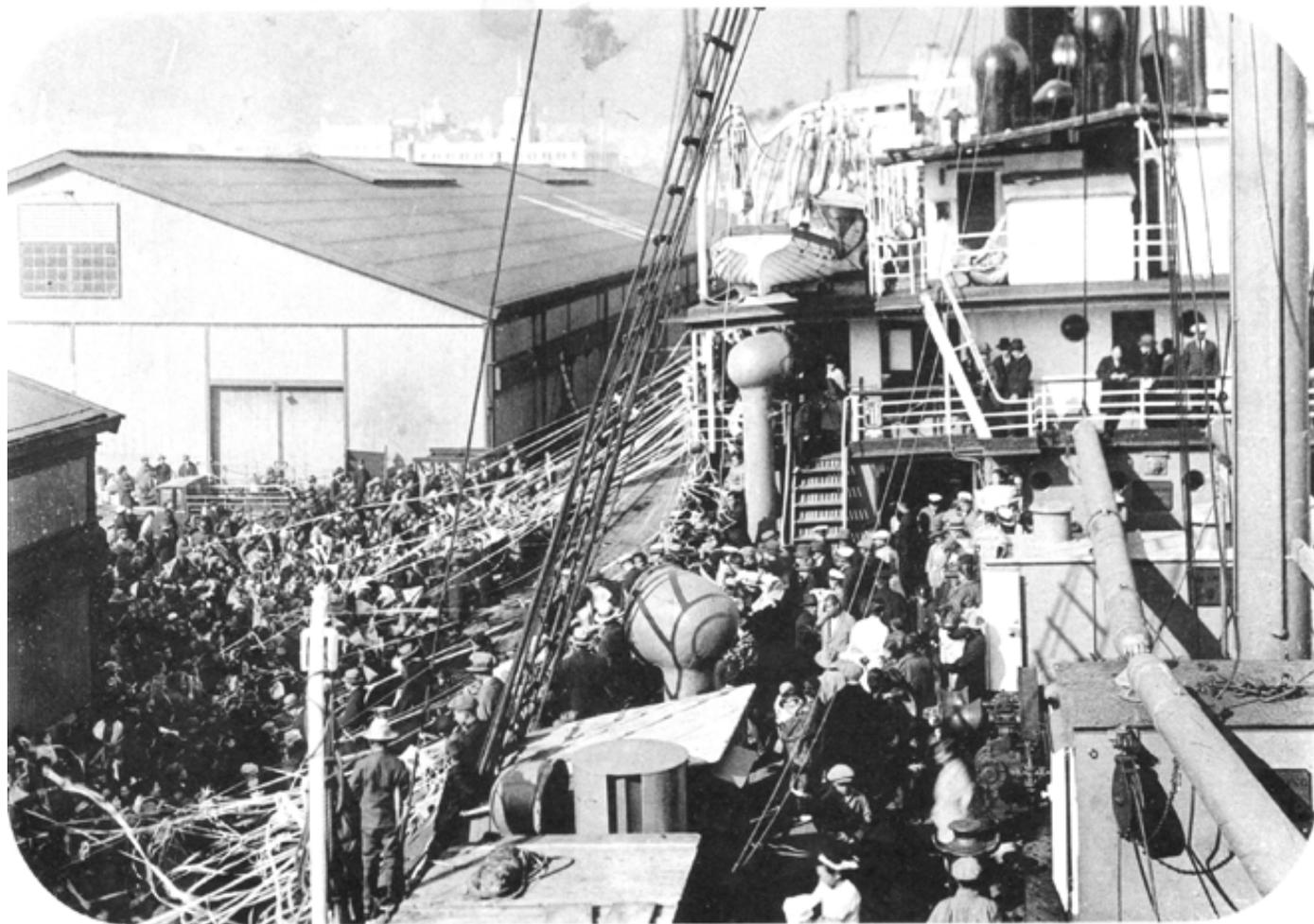


思出深き戸移住教養所の全景

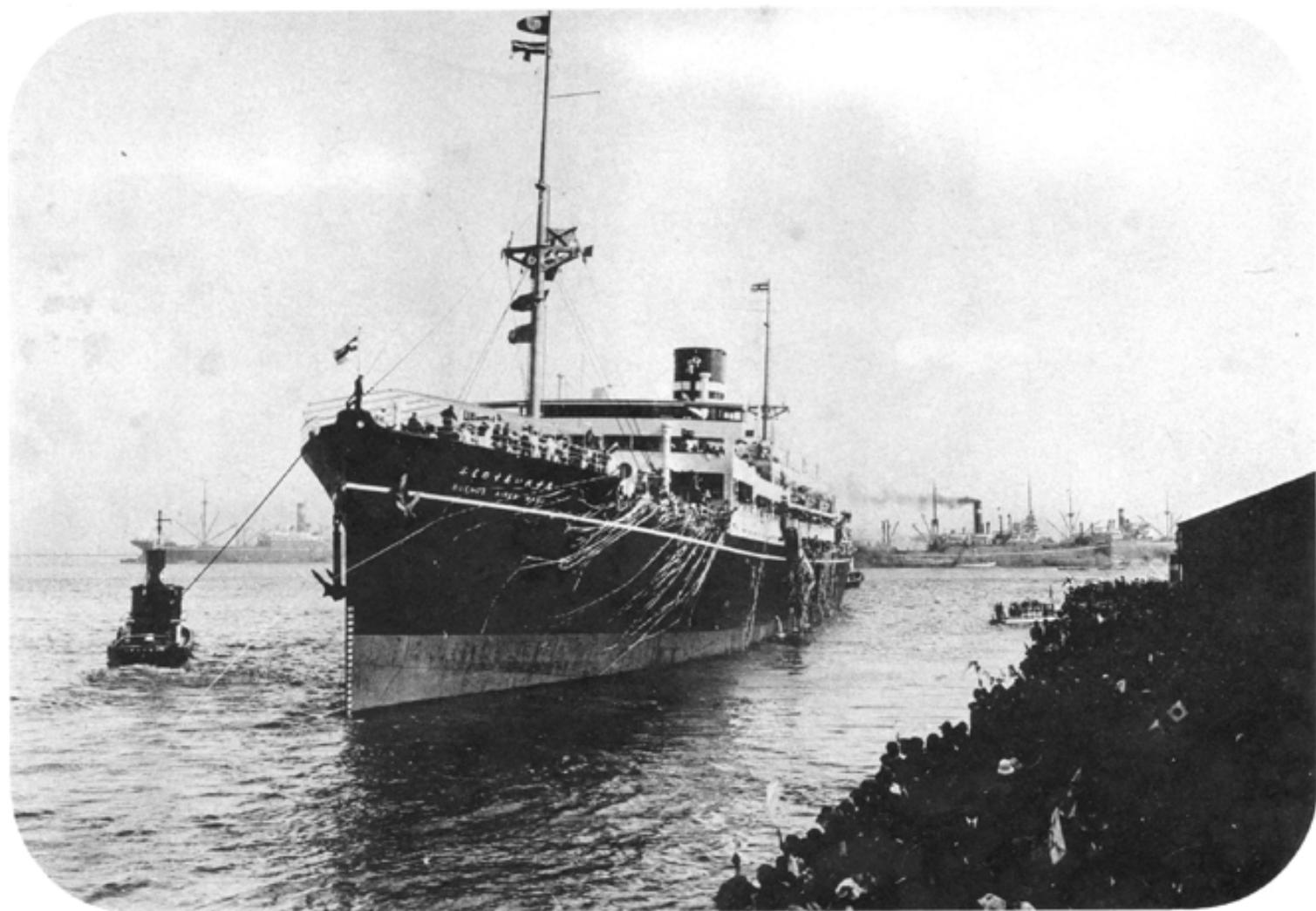


ルテホ亞東い高名は物建のふ向、處るすを査檢の物荷に前帆出國母

⊗ 神戸港出帆並に航海中の實況 ⊗



景光あつてしとんせ帆出を國母に將は民移我ち滿に氣勇よ胞同よ國母はらさ



移民神戸出帆利那の光景

・晴れの神戸港出帆・

我等同胞が渡伯の志を立て一切の手續きを完了すると、先づ神戸移民教養所へ入所します。こゝで一週間、渡航に關する豫備教養を受け、晴れの壯途に上ります。

そして航程一萬三千哩、其の日程約五十日、將に出發に際し意氣軒昂たるものがあり、物凄忙殺振りであります。之れから航海道中の實況寫眞であります。

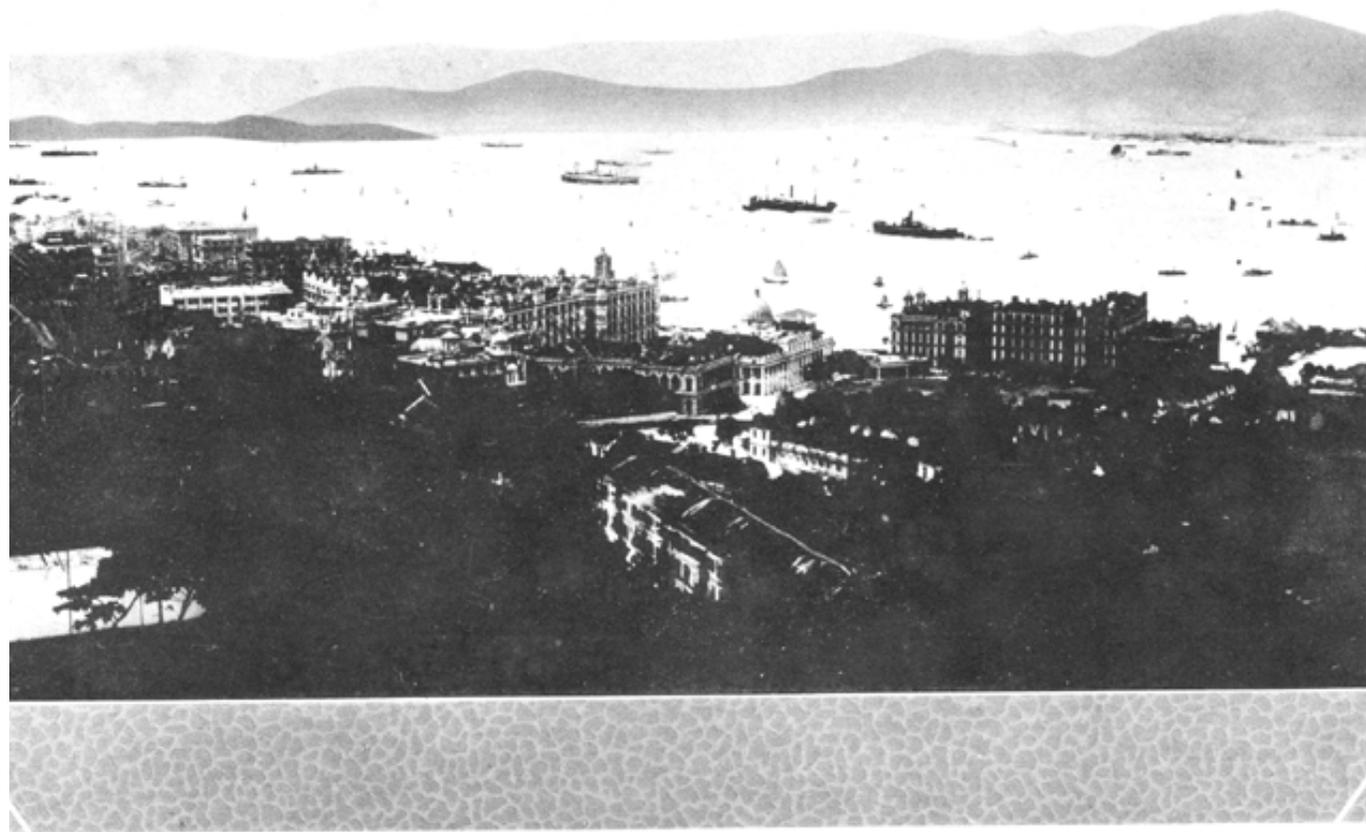
神戸移民教養所の正面——此建物の裏に尙同形の建物一棟がある。總て四階建てで、地下室は食堂、浴場、機關室、倉庫等に分れ、二階は醫務室、事務所等である。其他は全部移民室である。猶四階に大講堂があり、毎日一回の講演會が開かれる。本建物の收容人員は約貳千名と謂はれてゐる。

神戸出帆刹那の光景——移民教養所に合宿すること一週間、愈々待望の壯途に上るのである。棧橋には滿艦飾を施した一萬噸の巨船は移民の乗込むのを今や遅しと待つて居る。さて續々と繰り出した移民はなだれを打つて乗船し、歡送者と共に船中は大雜沓を極める。午後二時汽笛一聲船が愈々纜を解けば、萬歳の聲天地に轟き、惜別のテープ數千條風にひらめき、やがて起る音楽隊の、壯途を祝す、のマーチは啞唸として船ばたに響き渡り尙一層の壯觀を呈す。船は次第に棧橋を遠ざかりテープは切れて海に流れ、打ちふるハンカチもかすかに消え行くのである。

母國出帆前、荷物の検査を受けてゐる處——即ち刀劍、銃器、澤山の絹物、其他密輸入品と認められる恐れある物は持參を許さないで、その下調べをするのである。

・麗しの香港・

若し日本を嚴寒の候に出帆するとして三日目には早くも香港に着く。此處は恰も日本の春陽四五月頃の氣候である。彼の名高い香港の公園には色彩りんの美しい花が咲き亂れてゐる。我が移民達は上陸して此の美しい香港市街を見物する。



望遠内港りよ岡公港香



物見民移と街市港香



む望を内港りより通岸海・港香那支



支那香港の東洋一の開港場に於ては夜景の世は三大美港の一である。我々移民船民は必ず此處に寄港する



む望た部一の街市りよ園公ルーボガンシ



シボガルー植物園は同市に於けるゴム園と共に有名なり



園公物植ルーボガンシるあ稱の一界世



園公物植ルーボガンシ

・シンガポール・

香港を出て一週間位せば英領シンガポール港へ着く。途中だん／＼暑気は加はりシンガポールでは堪へ切れない暑さとなる。船員の冬服は二三日前から夏服に變るのも面白い。酷暑の街へ上陸すれば皆云ひ合した様に公園の木蔭に遊び、又黒ん坊の海水もぐりを見るのも面白い。此處はシンガポール市街の一部である。

シンガポール植物公園は同市ゴム園と共に名所として實に有名な所である。だから此地へ旅行する者で、此處へコール車を向けぬ者はなからう。園内は周圍教理に及び、動物園あり、植物園あり、鬱蒼たる大森林の如くして天然の美を保ち、野猿の群の木枝に戯れて居るのも見受ける。尙行けば花壇あり、池あり、芝生あり、然も自動車路は縦横に通じ遊覽に便である。山は莊嚴にして又華美に、恰も油絵の中を散歩する心地がする。公園の入口附近は名士の別荘點在し、風光に一層の美を添へて居る。

8

・樂しき航海・

船が香港を出ると長い航海なので小供の爲めに船中學校を開設し、緩々に分けて教育を始める。又大人は毎日一、二回の体操をして健康を保つ事に努める。船が赤道を通過する時は必ず赤道祭を行ふのが例である。此の場合には船の主催にして、移民は思ひ／＼の扮装をなし船中を練り歩き、或は手踊りなどして其の一隅をいと賑かに且楽しく送るのである。又印度洋と大西洋とを通過する場合一二回船中運動會を開催する。之れも航海移民の慰安の爲めである。又印度洋はとても熱く、風と並行して走るせいか、煙は常に真直ぐに立ち上つて居る。夜は船室にも居たゞまらず甲板に出て涼むのを常とするが、成可く船室に寝るやうに注意する。又長い航海中には時折ぜんざいを作つて無聊を慰め、小供達には玩具を配つて喜ばせる。又航海中二三回は芝居やシネマを開演して乗客の慰安に努めるのは船としても仲々骨が折れることであらう。



園公物植ルーボガンシるあ稱の一界世



るす育教き開な校學中船め爲の童兒間共がるす要を日十五約は海航ぐ繫を伯日



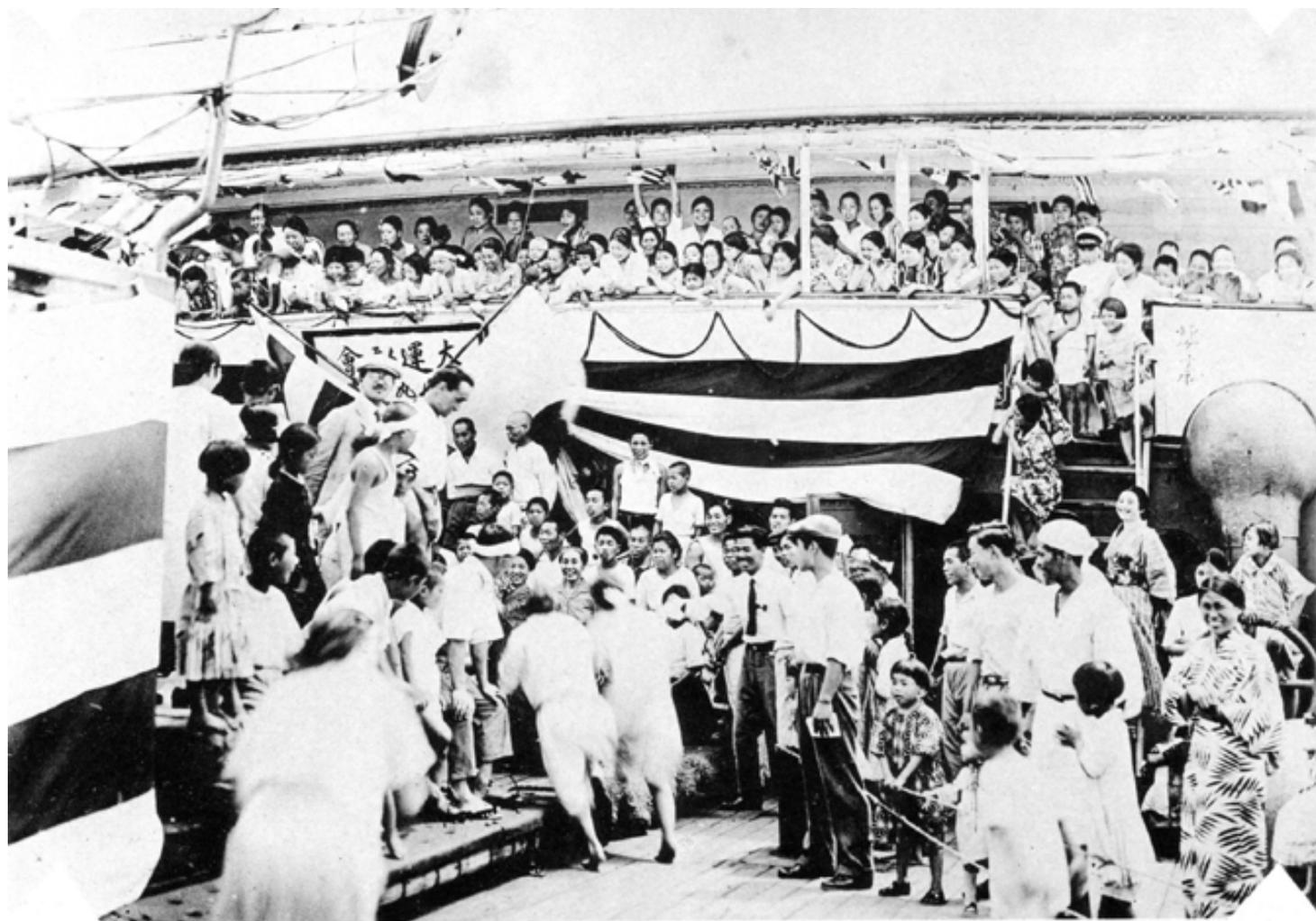
赤道祭の余興 踊り手



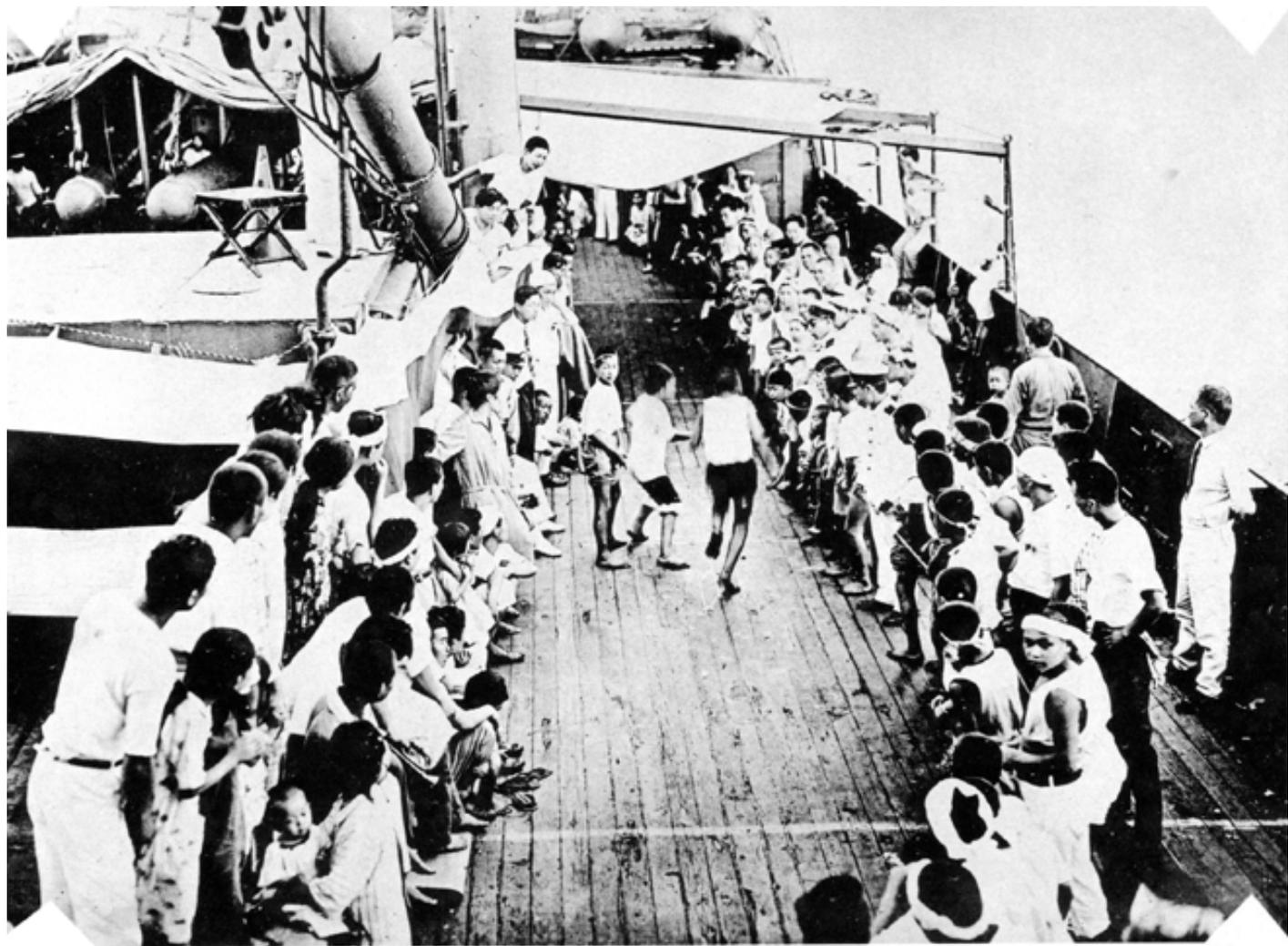
るあで装扮興余の時其は之・ふ行を祭道赤す必は合場るす過通を下直道赤が船



(一其) るあで況状の時の共。す催な會動運中船々時、上健保育体に共とるす感を聊無に海航の途長



(一其) るあで況状の時の共・す催な會動運中船々時、上健保育体にとるす感を聊無に海航の途長



(二其) 會動運中船



(三共) 會 動 運 中 船



(四共) 會動運中船

・モンバサー港とローレンソマルケス港・

アフリカ東岸モンバサー港に、シンガポールを出て二週間位で到着する。海岸一帯は白き砂濱を以て連なり、緑の椰子は一面に繁茂してゐる。港口より棧橋迄七哩ばかり静かな長い入江を縫ふて進む。

棧橋に着いて其設備と又、貿易港としての堂々たる体形を整へて居るのに驚く。此處に日本船の一二隻碇泊して居るのを見て、貿易國日本の力強き飛躍を思ひ、異様な感激を覺へた。

ローレンソマルケス港はモンバサー港より三日間位で着くが、こゝも要港の一つである。上陸は出来なかつたが相當な市街と見へた。貨物の積卸しはすべて黒人が働いて居るが、彼等が石油箱を手毬の様に取扱つて居る其の力量には驚くの外はない。



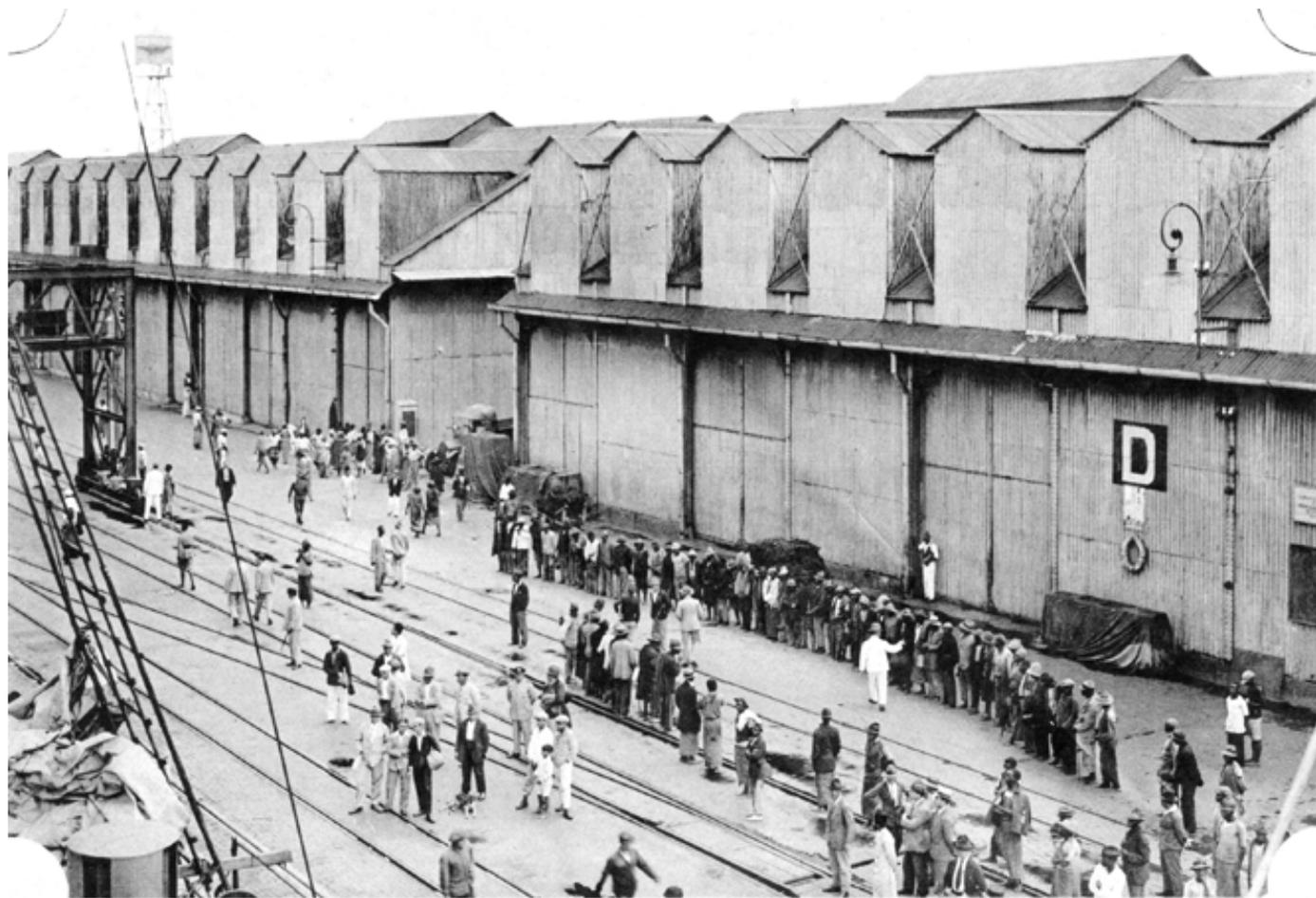
るあで景風ぬれは云もえ林青砂白・港サツバンモ岸東のカリフア



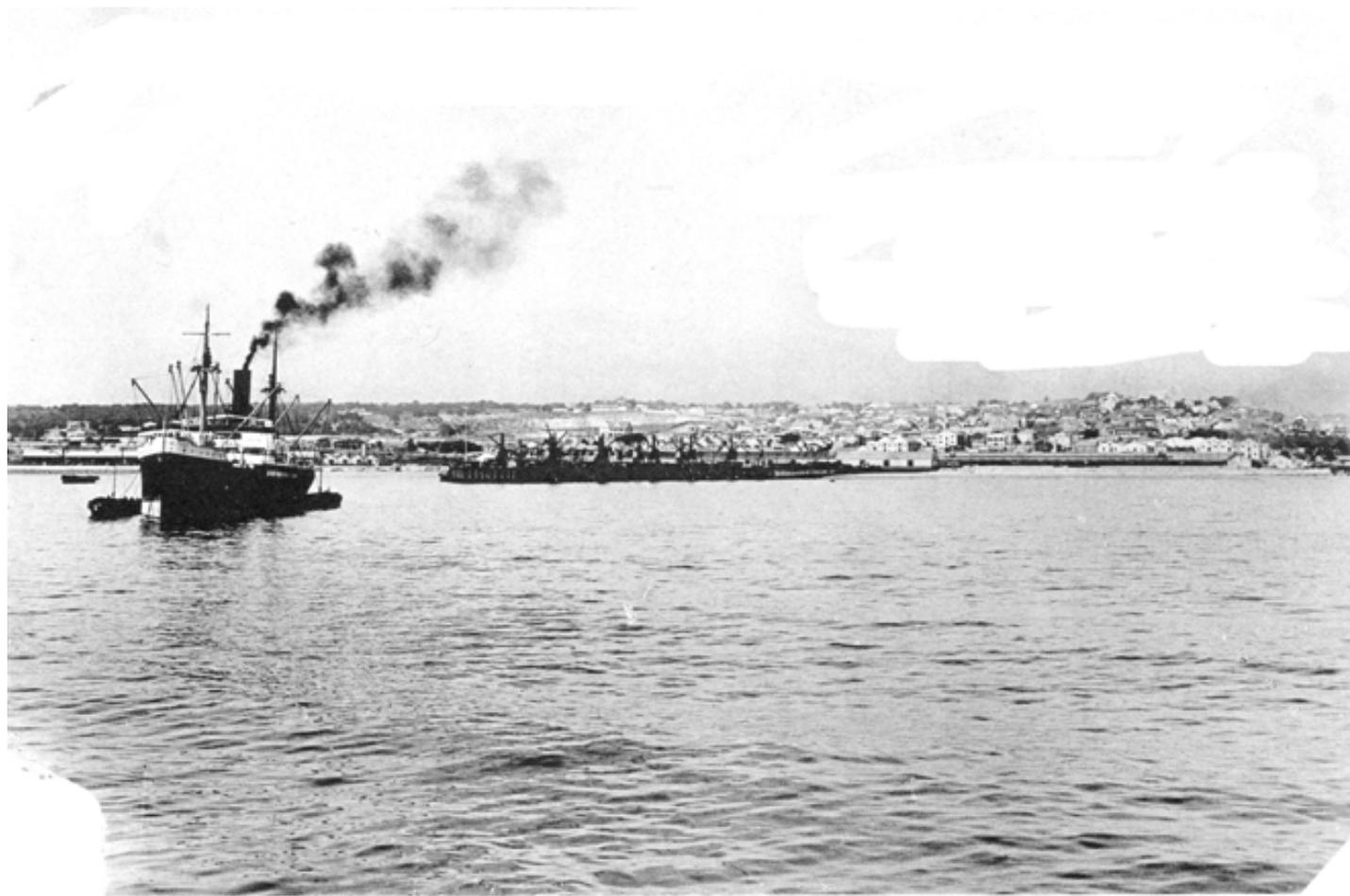
港易賀大の亞東は處此・く着に橋棧港サツパンモてに間時一約とこるす港入



東亞羅倫斯頓港棧橋に於ける日本郵船の碇泊る處



るあでのるめ始を動活し合集く如のく斯は者働勞人黒ばせ泊碇に港スケルマソソレーロ



ボートリエサスベ上海港より市街遠望す



夫車のンバーダ・カリファる走てし装服の様異



海風の吹くバーダの港の海岸を散歩する同胞女達



りあ稱の山ンオイラは右りあーカルブーケな名有でンテンウマルブーテは山の面正・港ンウタブーケ端南最のカリファ

ポートエリザベスとダーバン。

ポートエリザベスは、ローレンソ港より四日位で着く港である。船は棧橋に着けないが、沖から市街は一望のもとに眺め得る。然も電車の往來するところなど、手に取る様に見へる。此の港は寄港地中、最も魚のよく釣れる處として有名なので、船員は皆魚釣に興じているのである。

ダーバン港はエリザベス港の次の港である。港口は狭けれど入れば港内廣く、敷哩を走つて棧橋に到着する。港内の風光明媚にして我々を恍惚たらしめるのである。此處は勿論英領にして東亞中の最大要港にして、市街の繁榮は實に目覚ましいものがある。ダーバンに上陸すれば誰れでも第一番に動物館を見物する。流石猛獣の本場であり、イギリスの力を入れた所で、其の徹底振りは驚くの外はなく、實に世界一の稱あるも過言ではなからう。ダーバンの海水浴場も仲々華やかであり、二階電車も面白いが、交通巡察の自動車整理に、自分の背中に飛行機の羽根の如き物を附け、體を廻はして止まれ、進めの方角を示すやり方は面白いと思つた。次にダーバンで見逃す事の出来ないのは、黒人の人力車夫である。異様な服装をして昔ながらの車を引き、ゆらりゆらりと水牛式の頭を振りつゝ走る様は、實に何んとも形容が出来ない珍風景である。海岸通りは椰子の並木があり、其の葉蔭で港内の風光を眺めるのも愉快である。

ケープタウン。

ケープタウン港はアフリカ最南端、喜望峯の下にあり、ダーバンと其の繁榮を争ふ東アフリカ中の大都會である。テーブル山、ライオン山は共に世界的に有名な山であるが、ライオン山はライオンの頭如く、テーブル山は山上平坦にして恰も机の如くなるを以て其の名がある。山には登山ケーブルカーがあり、頂上は海拔數千米突、草木なく唯岩石重疊と連り、冷氣清々しき山上にはピヤホール、ホテル等があつて休息に便である。山上より俯瞰すれば市街は一望のもとに見へ、右は大西洋、左は印度洋を望む。市の中央に熱帯樹の繁茂せる大公園あり、こゝも動物館があつて遊覽の箇所は頗る多い。又築港に遊んで捨石をめぐり、タコ、エビ等を捕える事は茲の名物の一つである。ダーバン出帆後より氣温はだん／＼下向になり、香港入港前より船員は皆黒服と着換えるのを例とする。當港出帆すれば愈々ブラジルへ直航するのである。



(一其) む望な街市シウタプーケ端南最のカリア



(二共) む望な街市ンウタブーケ端南最のカリファ



ケブタ・ループ上山より大西洋岸を俯瞰す



ウタプーケ・ループ山より全市場橋附近を俯瞰す



近附橋棧内港ソウダブーケ



樹帯熱と園公ソウタブーケ



た來へ港ストンサのれ撞いあ、港ストンサの後最が處此日余十五や早てし出船を本日



港ストンサ

憧れのサントス港・

ブラジル國サントス港……ケープタウン港を出帆し、大西洋を横断すること二週間でサントス港に到着する。神戸港を出てから通算すれば、早くも五十余日を費した。嗚呼憧れのブラジルへ着いたのだ。港口から狭い入江を行く事四五哩、美しい海岸を左に見つゝ船は漸く棧橋へ着く。此處が我等の樂土、安住の地ブラジルだと思へば思はず快哉を叫ぶのであつた。棧橋には在伯同胞が黒山の如く出迎へられ、万歳の聲は時ならず船ばたに轟き、やがて上陸が始まる。そしてサンパウロ移民收容所行の特別仕立の汽車に乗る。船員はプラットホームに来て旗を打振り、其の壯途を祝暱して呉れる。母國を出てより長い間苦樂を共にして來た移民は、船員さん、サヨーナラの聲も涙でうるむ。やがて汽車はサントスを後にサンパウロ市へ向け發進する。

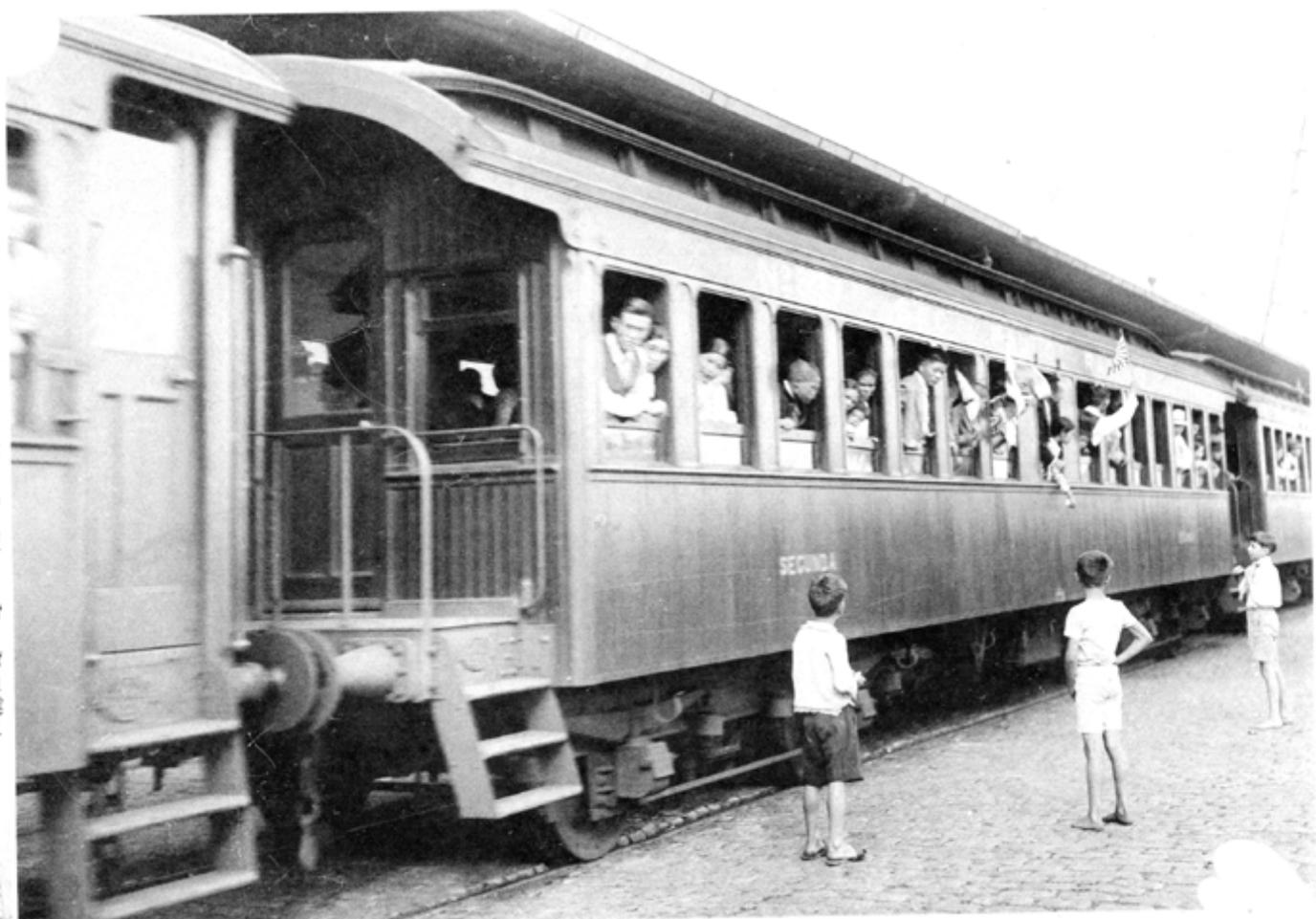


憧れのブラジルに船は着いた、我移民は嬉々として上陸し
サントス波止場へ第一歩を印したのである。



上陸した我移民達は再び汽車で聖市へ急ぐ

乗車を終つた我移民は懐き船と船員達に
別れを告げ、サローナラと共に汽車は動く





サントス着の我移民は續々と上陸しつゝある



るあで式国外て總は管内 所容收民移ロウバンサ



査検物荷るけに於に所容收ロウバンサ



るあも人スポコといなは合に口おすーはにんさ民移新らかだ式國外は事食の所容牧ルジラブ



るあでのふ結を夢の夜一第國伯に處此は達民移たしり入所容収

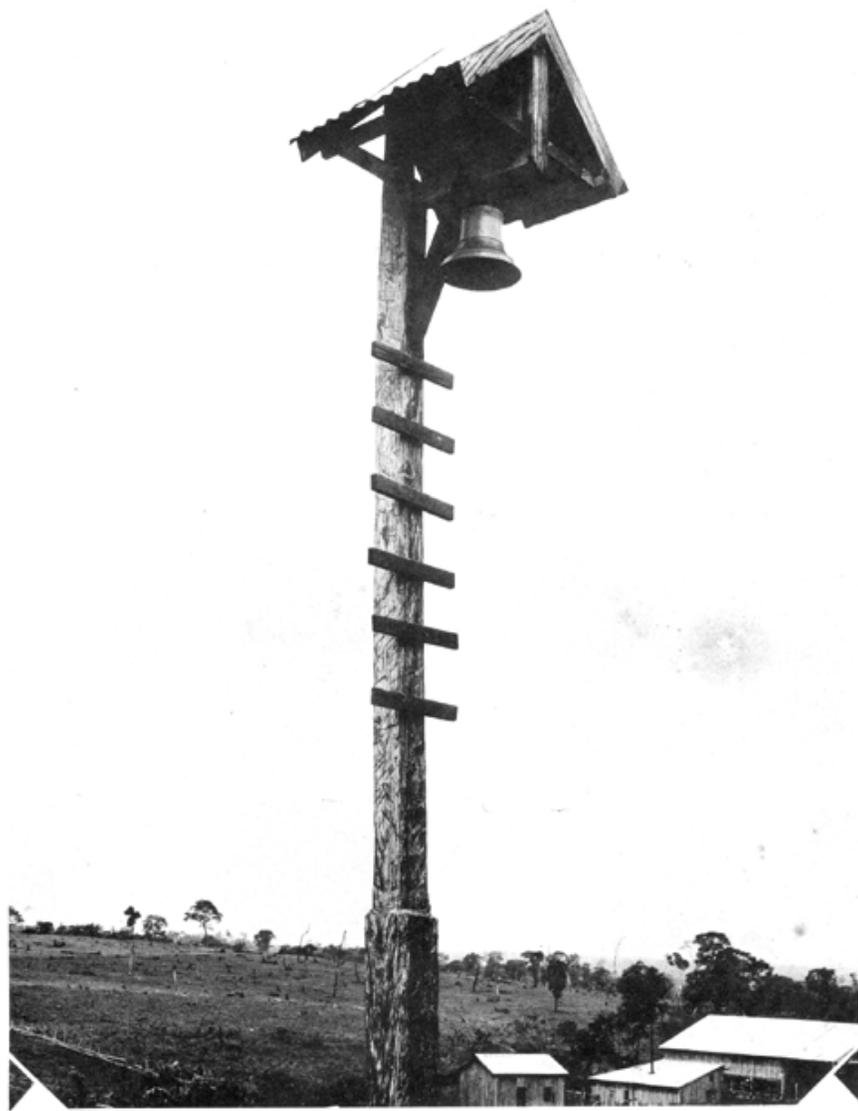
サンパウロ移民所。

サントスを出て約二時間、サンパウロ市の移民收容所に到着する。一先づ寢台に落着いて旅装を解き、上陸最初のブラジル食を興へられる。脂濃い飲食物には飽でも閉口するらしい。翌日には愈々荷物の検査を受けて一泊し、其の翌日の朝早く各々配耕されて行くのである。

義務農年とファセンダー生活。

ファセンダー生活(耕地)聖市移民收容所で、海興から其れ指定の配耕地に導かれて行く。此場合大概、耕地から日本人監督が出迎へに来てくれる。その人の案内で再び汽車で出發してファセンダーに着くと、先づコロノ(小作人)住宅を興へられ、二三日間は仕事の場所と生活上の準備をなす。そして愈々義務農年の生活は是から始まるのである。先づ後は鐘を合圖として五時起床、六時には必ず家を出て仕事の現場に向はねばならぬ。仕事は時季にもよるが、カフェエザール(珈琲畑)に行く者と、テレーロ(乾燥場)に出る者、其の他いろ／＼命令に従ひ仕事場に行き、六時から仕事を始める。勿論、朝家を出る時コーヒとパンとをとり、晝食は午前十時現場で食す。食事は女が運ぶので、女小供は家に居て家事の仕事をして差支へない。

午後は六時に仕事を終り、家に歸つて自由の體となる。併し夕食をとり入浴などして一服すれば、晝間の疲れが出て、うつら／＼夢路を辿るのである。又朝は五時の鐘で床を起き、雨天でない限り毎日炎天下の労働にいそしむのである。ファセンダーの周囲は大抵バナナ、蜜柑などの果物が植えて在つて、自由に食糧とする事が出来る。又日曜日、祭日(チアサント)は伯國の習慣として、一切休業して其の日は愉快に遊ぶ。ファセンダーでは農具、食糧品は元より牛肉、牛乳等に至るまで一切の供給店があつて、労働者の不自由なきを期して居る。



るま始らか之は働勞のダンセアる歸で鐘き起で鐘——よ鐘の出ひ思呼鳴



山のーエフかるけ於にローレテ・ダンセフ



所るれ入取に庫倉をーエフかるたし燥乾て於にダンセア

ブラジルの農具・ 水野龍氏・

ブラジルの農具……伯國で百姓するには是非其寫眞の如き道具の準備を必要とする。ブラジル語を以つて其れを大別すると、先づ山林採伐用としてホイセ、マツシヤード、トランサードがある。ホイセはホツシとも云ふが先づこれを以て雜木、カズラ等を薙ぎ倒し然る後大木を伐る。大木は最初トランサード(大鋸)を以て切り、最後にマツシヤド(斧)で切り倒すのである。次はエンシヤード、エンシヤードン、ガステーラ、殺蟻マキナ、ブランタマキナ等がある。エンシヤードは草削りに用ひ、エンシヤードンは土又は木根を掘り、ガステーラは主としてコーヒ收集に用ひる。又殺蟻マキナは名の如く蟻殺しに、ブランタマキナは、米、棉、其の他すべて穀物の種蒔に使用する。次にコロツチ、消毒マキナ、ベネーラ、フェーロ等があり、コロツチは水を入れ、消毒マキナは農園の消毒をなし、ベネーラは珈琲、豆等をさびるに用ひ、フェーロは多く稻作に使用する。故に、こゝで邦語に譯さずとも其の名は大概推察出来ると思ふ。

水野龍氏は高知縣高岡郡佐川町の出身、現北パラナ州に土佐村を建設し、老齢にも拘らず今尙孜孜として、後進者の爲に活動を續けて居られる。氏は我日邦移民の元祖にして、最初同胞を伯國に送るに就き伯國政府と交渉し、自ら第一回移民の先達として渡伯し、既に三十有余年世界各國人種を向ふに廻し、我日本人の爲に万丈の意氣を示しつつある勇士である。されば今日伯國に於ける邦人の發展は將に水野龍氏の賜なりと言ふも決して過言ではない。氏は齡既に八十歳と雖も壯者を凌ぐの慨があり、益々邦人の尊敬を集めてゐられる。茲に氏の御健康をお祈りする。



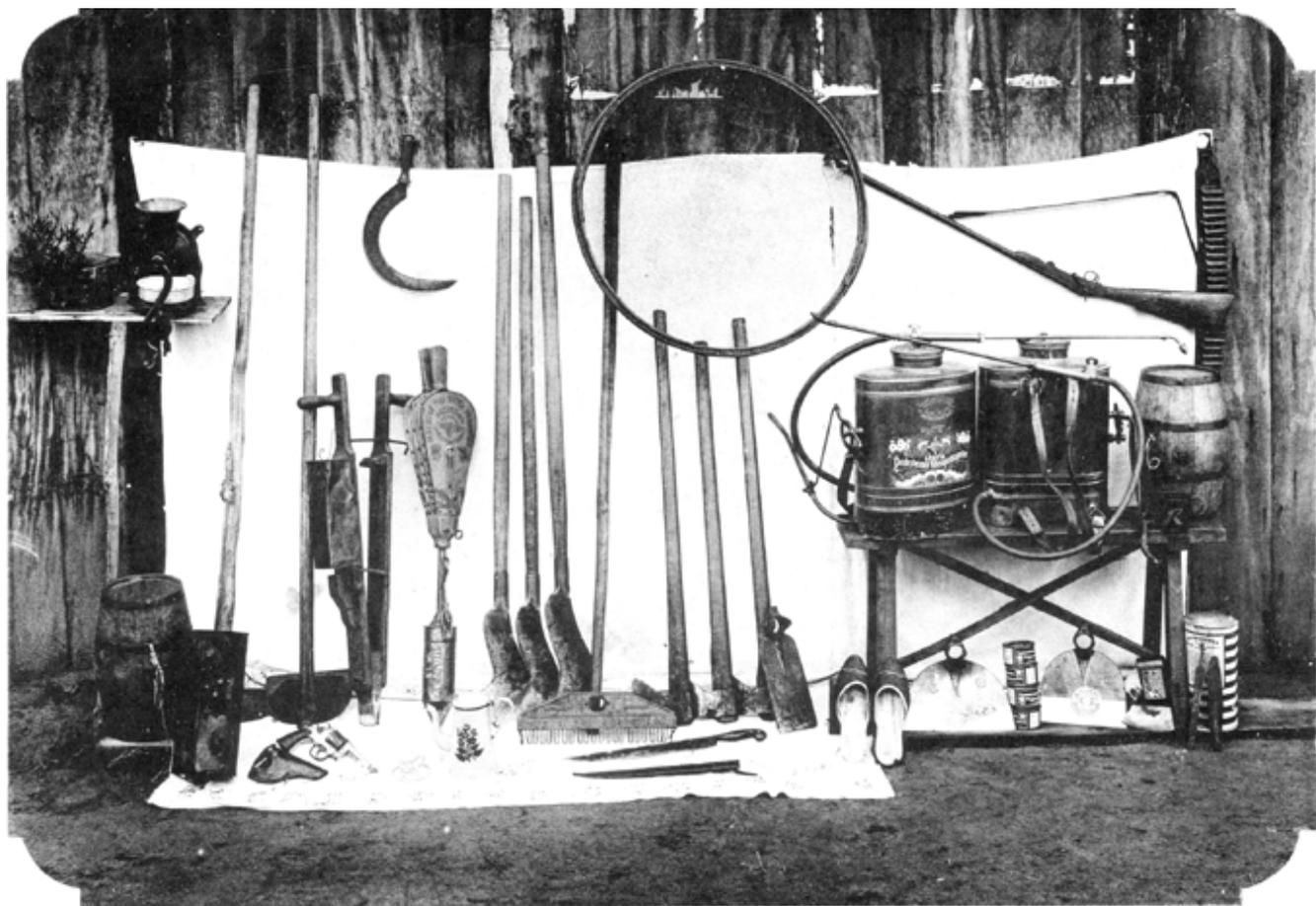
況實の滌洗 - ヲフカるけ於にダンセフ



況實燥乾のーェフかるたし滌洗



氏龍 野水 祖元の民移



切一具農ぬらなはてくになに姓百ルジラブ



實のニエフカるせ熟成



女乙和夫く他に同味由



カフエーの花満開

カフェー栽培事業。

カフェーは伯國唯一の主産物たる事は言ふ迄もない。カフェーを作るには先づ適當なる山を揀定し、これを開拓して畑を作る。普通四メートルの間隔を以て、コーバ(種蒔穴)を掘り、これにコーヒを蒔く。(コーバの深さは大概四十センチ位である)種蒔は八九月頃これを行ひ、一穴に付き十粒位づゝ入れるのを常とす。然る後、コーバ毎に長さ四十センチ位の割木を以て其の穴を覆ひ、日光の直射を防ぐ。十日内外すれば發芽し、既に成長する。而して一ヶ年位にて日覆木を除去し、其の穴は土を以て埋める。早きは三年目には初花を見、自家の飲み料位のコーヒを採る事が出来る。ブラジルの草の繁茂する事は有名であるが、如何に立派な畑でも一ヶ月と放置すれば足の入場もない迄に生ひ茂り、然も畑は小さくて敷町、廣きは數十町歩もあれば、毎日除草を以て仕事とする。カフェー樹は四年目が第一回の大收穫期であるが、八月末位には濛濛たる若木の枝には、香ひ高き純白の花が恰も銀世界の様に咲くのである。(二二二頁参照)此の時はブラジルの陽春であるから、野山には蝶舞ひ、鳥歌ふ季節だ。花の咲く頃は畑の草はなく、百姓としてはいとものんびりした暇な時節なので皆、壽司、辨當などを作つて、お花見と洒落れる連中も尠くない。

カフェーは概ね一年置に實を結ぶ習性がある。例へば、今年實が成れば翌年は休むのである。故に、四年目に大成りがすれば五年目は成らない。若し成つても少量に過ぎない。そして又六年目は樹も益々成長するので、むしろ四年目以上に花が咲き實を結ぶのである。又七年目を休み八年目に大成りをする事になる。又何十年にもなる古木が今尙依然として實を結びつゝあるのは珍しくない。カフェーの花は純白で蒸り高く、数十米先の遠方にも馥郁として香つて来る。然るに残念乍ら其の花の壽命は僅か三日でしはれ、茶色に變色する。そして其の跡には早くも青い實が頭を現はして来る。カフェーは決してアダ花はない。咲いた丈は悉く實を結ぶ。八月の末より九月までに成つた實はだん／＼成長して、翌年四五月頃には採集を始め八月迄には終るが、千本のコーヒ樹に付き七十依の收穫を普通とする。採集は相當手間を要するので家族一同は勿論、人を雇つて一生懸命にもぎる。(二二三頁参照)落したカフェーはそれを掻き集め、ベネーラに入れてさび上げ、小枝、枯れ葉等をさび飛ばす。さびたカフェーは一定の場所に集めサツクに入れて乾燥場に運び、此處で完全に干上げて一旦倉庫へ取込み、然る後適當な商人の手に移り、最後はサントス港より外國へ輸出する事になる。



(一其) れ入手の園琲珈樹年三



(二其) 三年樹咖啡の入手



景全の園琲珈目年六



園珈の年六齡樹



り盛花のーエフカ目年四



(一其) り盛花のーエフカ目年六



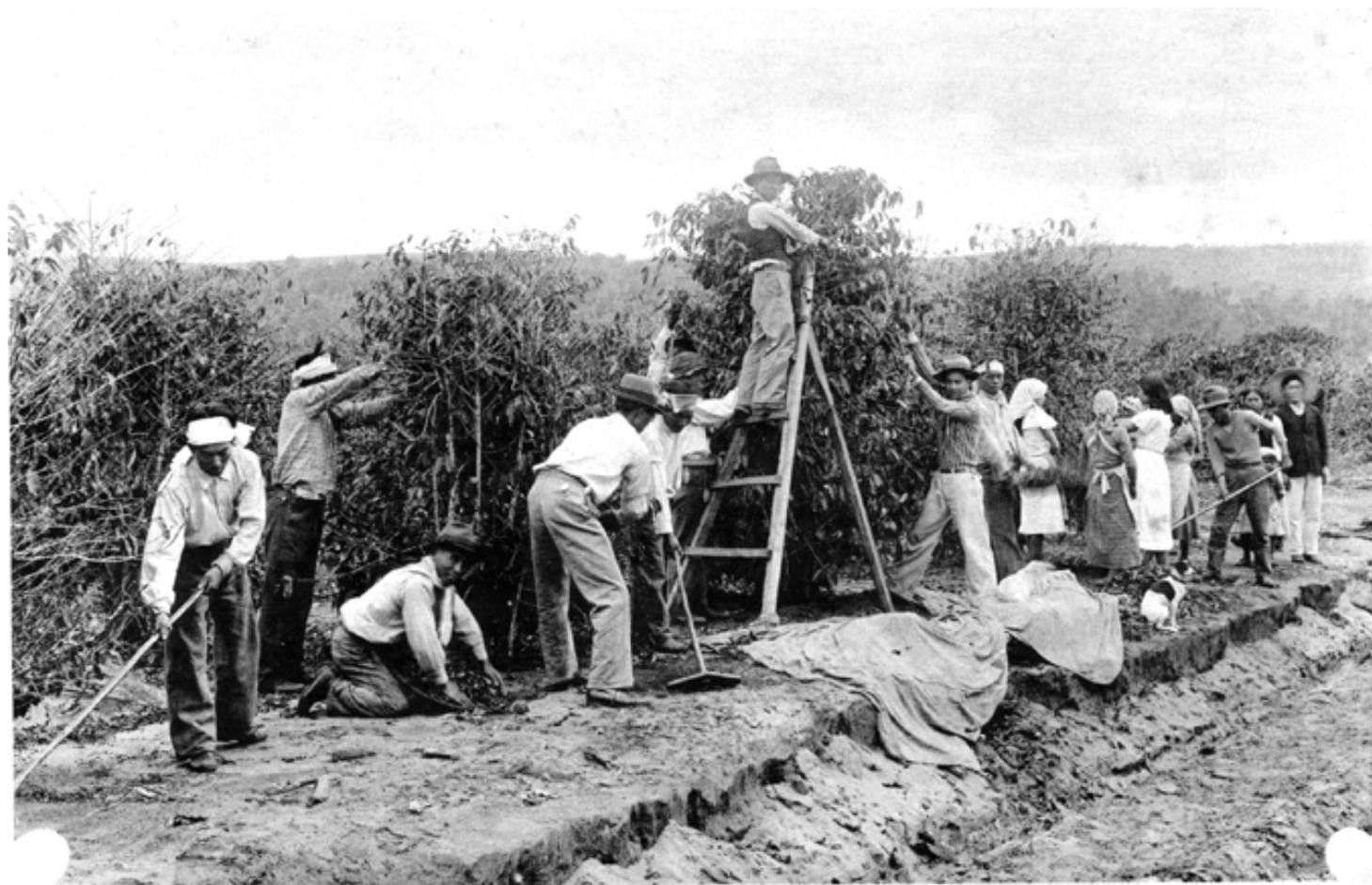
(二共) り盛花のーエフカ目年六



八年年カフエの花盛り

熟成の實のーエフカ目年六





中最眞の集採 - エフカ



るごさてしく斯はーエフカたし集探



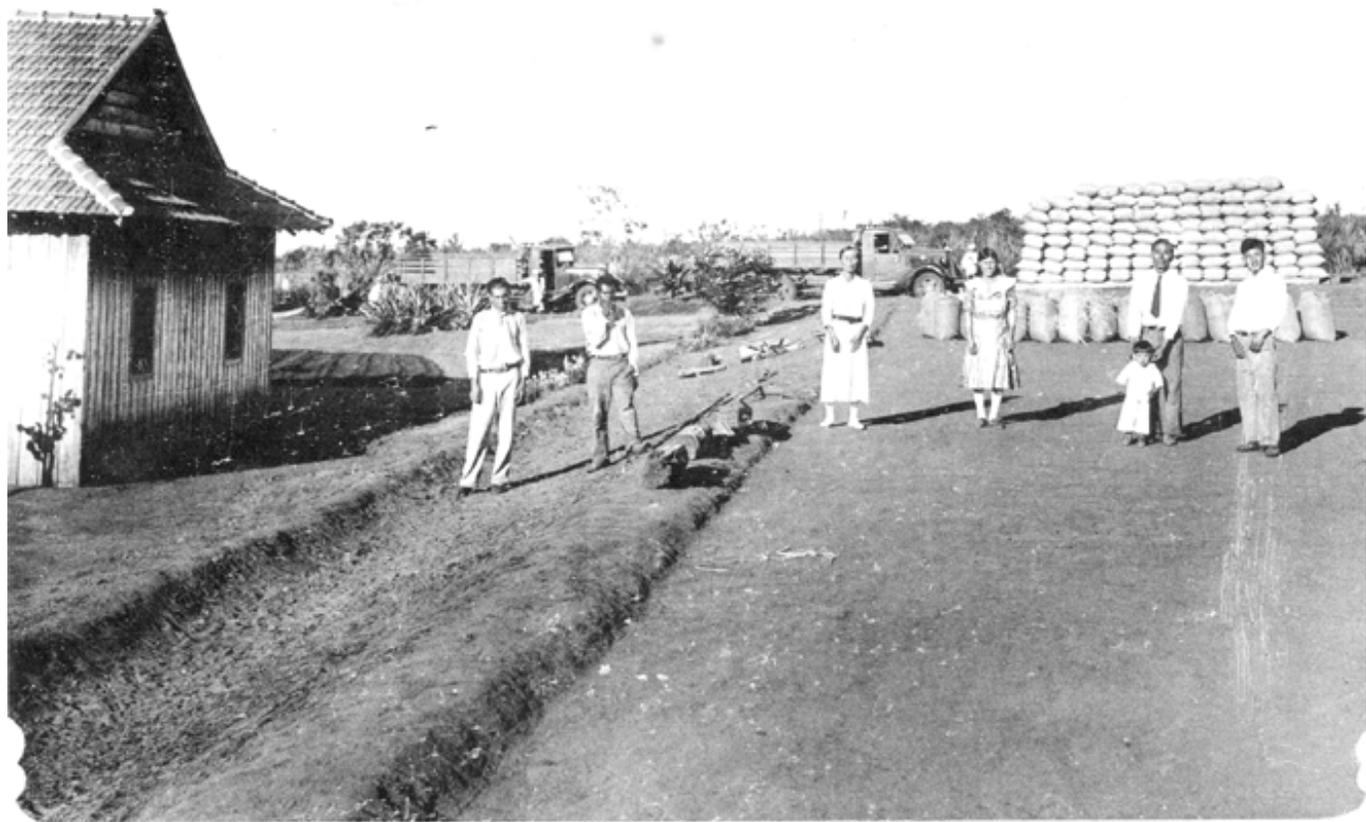
業作草除るけ於に後集採ーェフカ



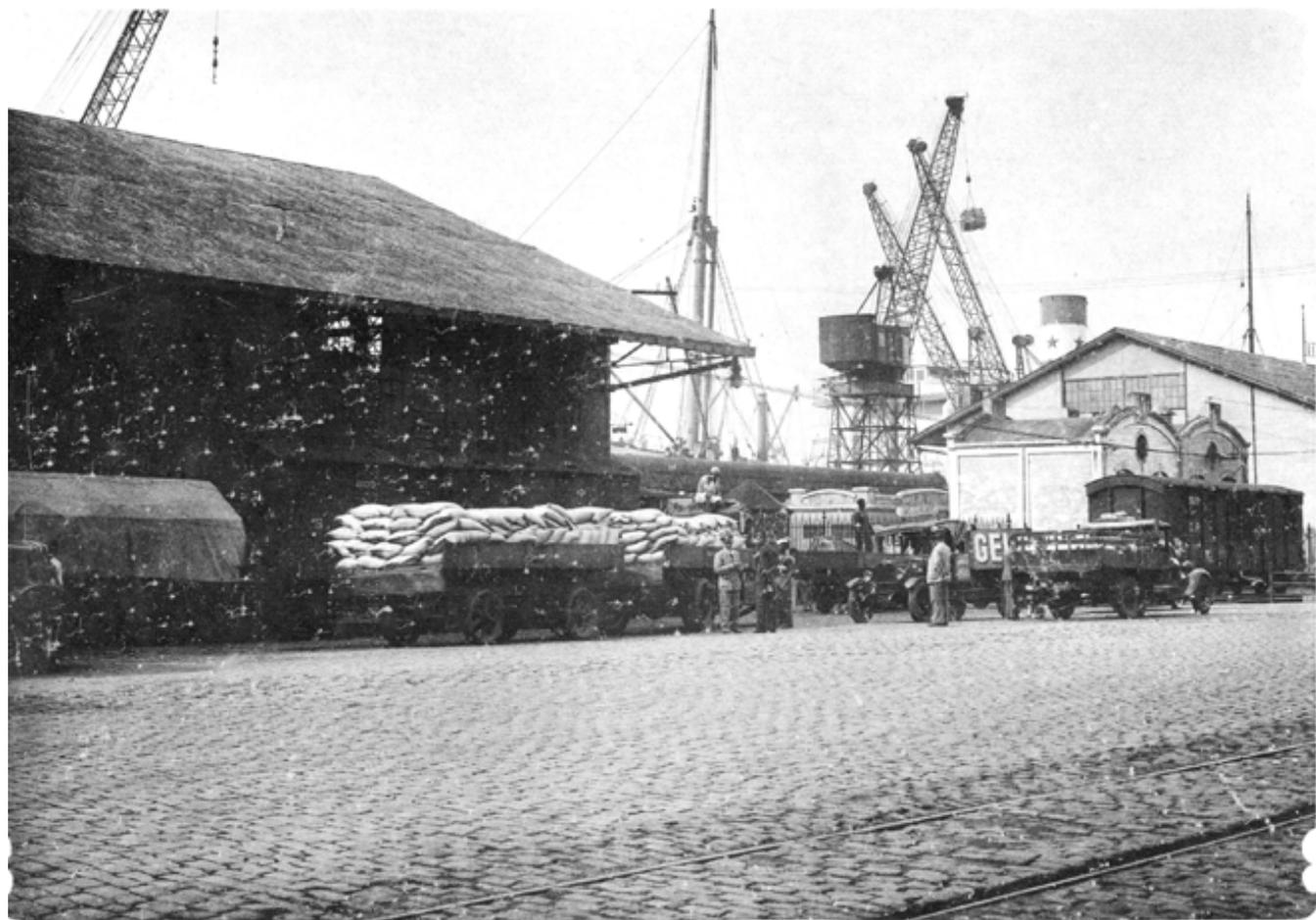
るれ入に袋はーエフかるたし燥乾



る計を方日は琲珈たれ入にクツサ



那利の出搬に揚市をーエフカ



す出輸りよ港ストンサク如のく斯は琲珈たつ作の胞同我

棉作事業(アルゴドン)。

ブラジルの棉はカフェーに次ぐ産物にして、日本人の熱心なる栽培により最近非常の進歩發達を遂げ、ブラジルの主産物として益々名高くなつた。棉作するにはカフェーと同じく先づ原始林を伐り拓き、畑を作らねばならぬ。原始林を伐採するには毎年五六月頃より始まり七八月迄に終了し、伐り倒したる良材は製材所に送り、残木は九月末頃の枯葉時季を見て一齊に焼却する。ブラジルの木材中建築家屋用として愛用するのは主として、ペローバ、セードロ、カネロンの三種である。別にアレイロン、カブリユウバ、イツペー等堅くて絶對に腐らぬ木がある。之れは諸道具や電柱や或はマンダロン用として歡迎する。ブラジルの森林中、大木として有名なのは何と云つてもヒゲラ樹である。大きなのは根元の廻り数十米余もあつて、伐採するには困難を極む。山燒の日は近隣の人が集つて手助けをなし、晴天の最も乾燥したる日の午後一、二時頃の然も風向きの都合よき時を見計らひ火を付ける。と、各所より一度に炎上する猛火は忽ち天に沖し、炎は数十キロの彼方からも望める大火となり、數十町歩の山林もまたゞ間に灰燼となり、忽ち廣大なる平野を現出する。山燒を終れば其翌日より燒跡の整理に取りかゝり、これを終れば雨天を待つて種蒔をなす。入植當時は尠くて二、三アルケールより多くて十アルケール位迄での植度耕作するのが普通である。種蒔の前には先づホルミーガ(蟻)の退治を要す。それは棉の發芽後害をなすからである。

殺蟻後直ちにアラードをかけ、其の跡にプランタマキナを以て降付をする。棉は七日位すると芽を出し、二三週間して間引を行ふ。一ヶ月以上経てば花を開き、五月頃より棉樹の消毒を始む。消毒は一作に付き大抵四五回を必要とす。其は棉には毎年プロツカと呼ぶ害虫發生し、芽を喰ひ、發育を害するからである。雑草は絶間なく繁茂するので度々除草を行ふ。棉は十二月頃より實を結び、翌年二月頃にはボツ／＼と咲き始め、棉の採集は愈々三月頃より始り、六七月頃に終るを例とする。

棉の咲き盛りは一面に銀世界の如く、垂れ下つた棉がユラ／＼と風にゆられて居る處は實に美觀である。故に採集するには多数の人手が必要であるから、多くの外人勞働者を雇ひ、家族は残らず出勤して一生懸命に働く光景は實に戦場の様である。そうした多忙の中にもアメンの葉蔭で一家團圓のたのしい晝食をなす時は誠に愉快である。摘んだ棉はサツクに入れ、之れを商人へ賣却される。商人は之れを製棉工場へ運び、工場は晝夜兼業で製棉し、檢棉後サントス港へ搬出し、更に各國へ輸出するのである。現在伯國棉の七割は邦人の手で作られ、其の大部分は母國へ積出しつゝあるのは、在伯邦人の發展を如實に物語つて居るものである。



七歳の昇平郎の棉摘

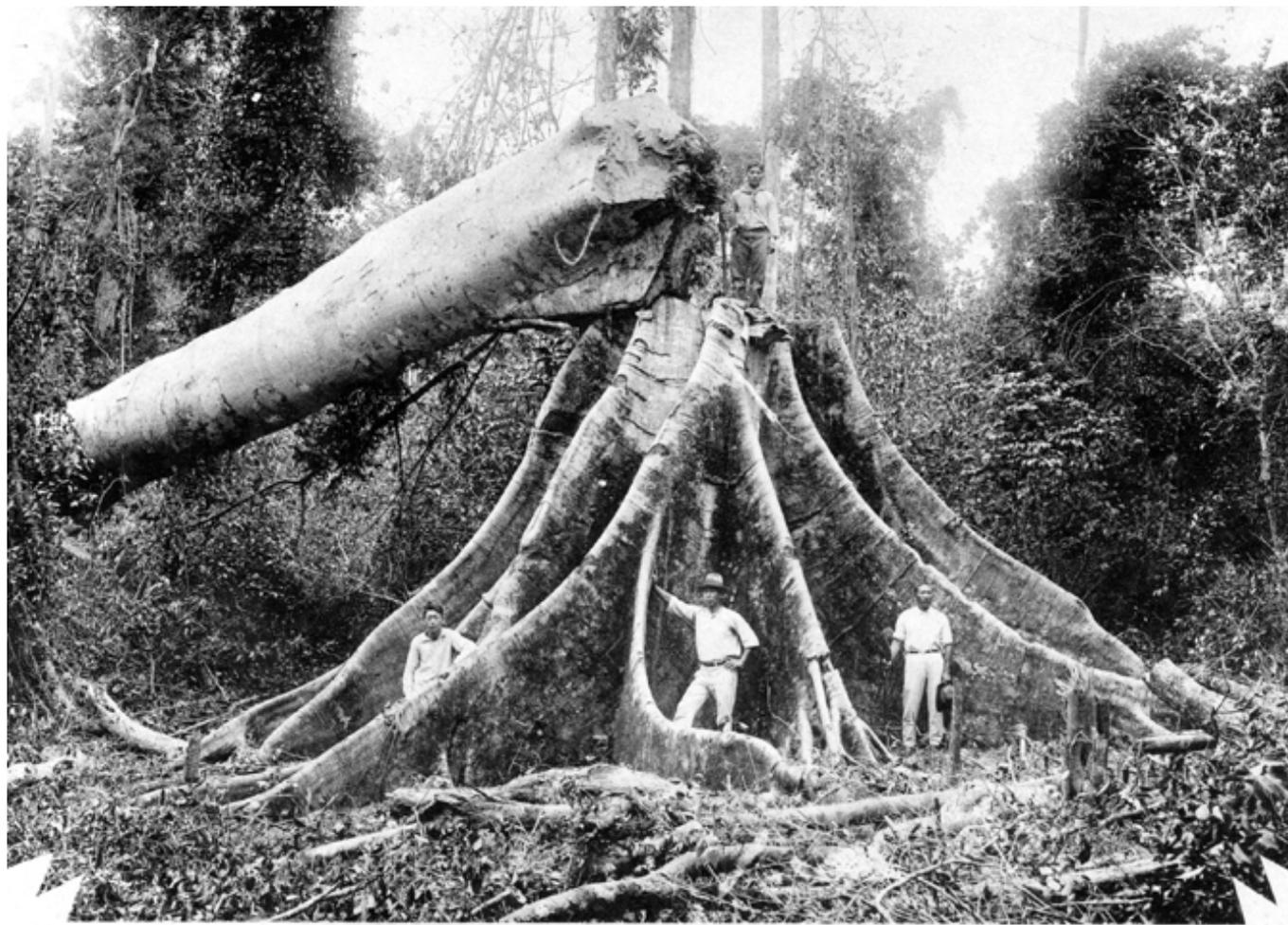
棉花栽培



蕾と花の枝と其の實



す探伐てしょう斯は林始元に前の業事



木大のラージヒ有名でルジラブ



ふ運へ所枝製は木大たし探伐



だ觀壯に實は時たけ付を火にルーケルア敷に度一るま始が燒山ばれなと期燥乾の頃月九八



るま始が農立獨り造を屋小假す先ばれす植入に山荒



中叢の蟻殺今・ぬらなげねせ蟻殺づ先に前の蒔棉



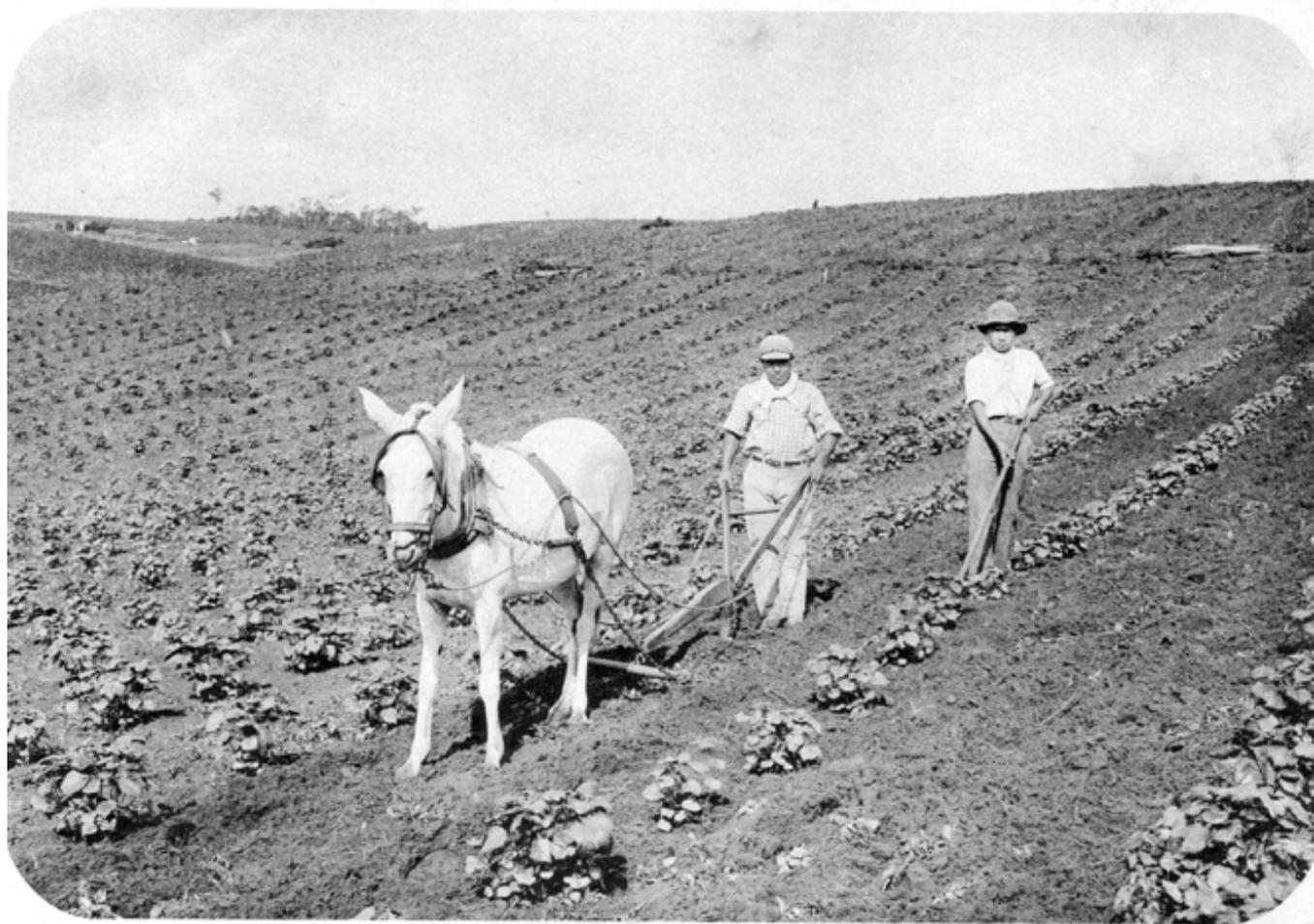
業作ドーラアの前るす蒔種



棉は大槓十頃に種を蒔く、此處は種の最中だ一家を擧げて大活動の實況



るす引間て見な否良の長成頃其るび伸に位寸八、七は棉ばれす位間週三、二てと蒔種……引間の棉



るすなり取草の回一第でドーラア分時此・たし長成に上以尺く漸は棉……け掛ドーラアの回一第



ねらなばれせ毒消にい大は時の其・る來が虫害す必はに季時花開の棉……業作毒消



るま始は摘棉・ため始き咲ろそろそは棉



今年も豊年だとばかり祝杯を上げても



棉の採集實況



ぬらなげれせ毒消にい大は時の共・る來が虫害す必はに季時花開の棉……業作毒消



るま始は摘棉・ため始き咲ろそろそは棉



ださし忙る廻の目に實・たし吹き吹ンドンドは棉



荷造りした棉花は自動車に積みあげ送る



車動自棉の人邦るあいつし搬運々積



邦人經理日伯精綿工場と棉の集り



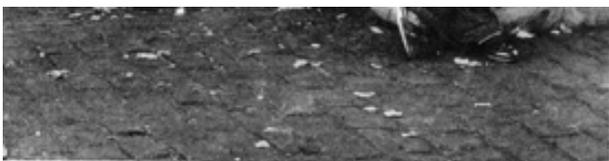
精綿終了の棉倉に投入検綿す



つ待を車汽び運にムーホトツラブは綿たつ上來出



吾等同胞の作つた綿は斯くの如くして母國へ輸出す



我同胞の作つた綿はサントスへ運び此の倉庫に入れる



ブラジル・サントス港に待期中のぶえのすあいれす丸

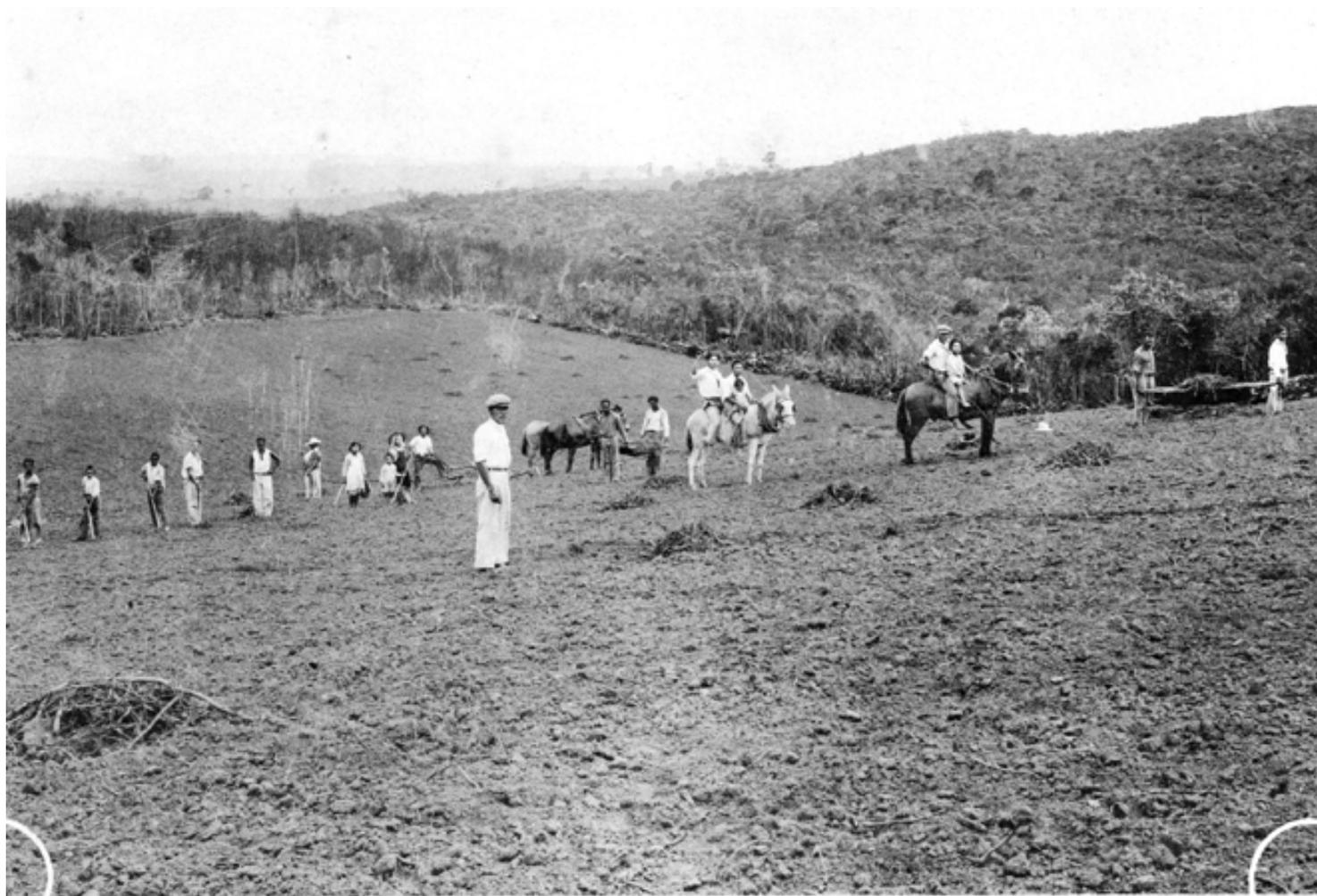
ジャガイモ作りの実況



達供小と園農のり作薯鈴馬なかどの



況實の中去除根木るけ於に烟芋



木根を除去しパンリつゝあ馬鈴薯農園



馬鈴薯は二月八日蒔き種とす最も近は時期に作る様にたつた

バタチンヤ作り。

バタチンヤは、ブラジルの食料として、外人間になくはならぬものである。

バタチンヤは各地に産出するが、主として、サンパウロ郊外が最も盛んである。之を作るには、山焼後大小全部の木根を掘り除き、アラード、デスコ、トラクトール等を以て耕作し、最後に畦を作り、之れに肥料を施して然る後種いもを入れる。種いもは四十センチ位の間隔で植付けるのが普通であるが、土地により又其の人の考へによつて、一様ではない。種いもは凡てオランダより輸入するが自作する人もある。その植付けの際は各戸大勢集つて互に助け合ひ、いと賑かに植付けを行ふ。植付け後一ヶ月位して畦を作り、根元を埋める。此頃より、いろ／＼消毒を始め、いも掘りする迄には数回の消毒を行ふ。いもの充分成長したる頃、いもの花が咲き満開せば實に美觀を呈す。バタチンヤは普通は毎年二月と八月との二回に植付けするが、最近時なし栽培が流行し、年中産出する様になつた。然し二月、八月のいもは大量に出来る事は言ふ迄もない。いもは植付け後六ヶ月後に掘るを例とするが、即ち二月いもは八月頃に、八月いもは翌年二月頃に掘る事になる。いも掘りの時は大多忙を極め、家族總出を以て欲習勇ましく掘るのである。掘つたいもは甲乙丙の三種に分別し、各々サツクに入れ、之れを自動車に積み直ちに邦人經營のコチャ産業組合へ送り、此處で販賣する。此の産業組合は邦人約一千家族余の農家を以て組織し、ブラジルに於ては壓倒的勢力を以つて居る。而して此の場合に出るいもは毎日數千俵に上るが、午前中には全部賣切れになるのだから大したものである。



耕 作 實 况



耕 作 實 況



馬鈴薯作りも規模大なる者はクラトク使用して耕すのであ



るすを合ひ傳手同一隣近は時の此・況實業作の付植もい種



況實れ入手の知るぞ過經を月ヶ一後付植



況實れ入手の畑るせ過經を月ヶ二後付植



業作毒消の畑薯鈴馬の近間熟成



り盛花の畑薯鈴馬るせ開満



(一其) 況盛のり掘薯鈴馬



(二共) 況盛のり掘薯鈴馬



況賞動活のり掘薯鈴馬き如の場戦も恰



く働てしと々嬉同一族家で畑原高い良のし晴見



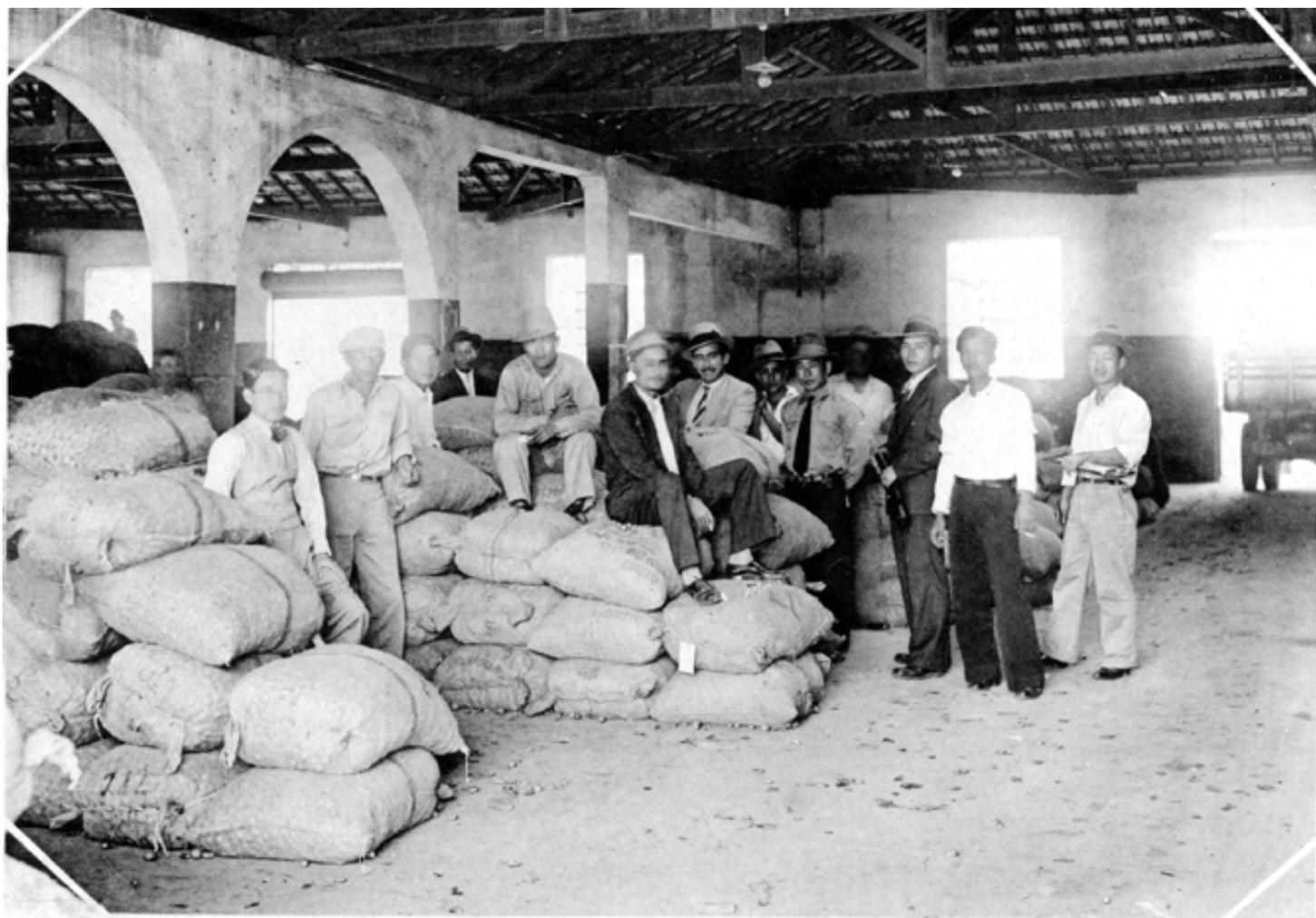
るす搬運てにンオンミカは薯鈴馬たげあり獨



産業組合へ集まる馬鈴薯は毎日数千に依る登る



邦人經營者チコ産業組合の全景



馬鈴薯は邦人組へ出荷して販賣す

トマテ栽培事業。

トマテも外人のなくてはならぬ食料であり、此の用途も非常に廣い。トマテは毎年八月頃に栽培するを良とするが、最近はその時期なしに作るを以て年中立派な物が出るようになった。トマテ作りはバクチャンヤと同じく畑地の木根を除去し、アラードを入れて作る。最初、苗床(カンテラ)を仕立て五六寸位に成長したる頃、之れを移植するのである。移植して二十日位するとエスタツカ(ツカ木)を建て、風雨に對し倒れない様に結び付け、其の成長を助く。肥料は移植前に充分與へる必要がある。然して四ヶ月位すれば採集を始めるが、トマテの未だ青い内にもぎり倉庫に入れ、熟するを待つて箱詰り市場に送る。トマテ栽培は土地の探擇と害虫豫防に最も注意を拂はねばならぬ。又苗木の手入れ方も大切である。トマテは五人家族で七千本位作るのが普通であるが、中には一万本も作る人がある。又多数のカマラーダ(外人日雇)を使つて數万本植ふる豪者も少くない。さて畑の近くにタンキ池を作り、或は川を利用し、發動機により送る設備をするなど相當大掛りでやる様になつた。トマテちぎりには呑氣で美しい仕事であるから、女小供に適當した事業である。

漸く芽を吹いたトマテ苗床の手入れ最中





トマテ採集の實況

移植後三週間位すれば腕木を立て成長を助く





成熟せるトマトの出来ばへ



ふ行に繁顔は毒消ひ従にるす長成



れ入手の畝テマトの後間週二植移



況實の集採テマト



トマト荷造りの実況

野 菜 作 り 。

野菜作りもサンパウロ郊外が一番多く、トマテの副業とする者と野菜専門にやる者がある。野菜の主なるものはアルファツシャ(日本の水菜の類)、レポーリヨ、ビメント、大根、かぶら、葱、南瓜、さや豆、コーペフロール等であるが、外人の常食は何と云つてもアルファツシャとフロールである。最近日本人が作り出した日本の大根類は、益々外人の愛用する處となり、毎日青物店の棚を賑はして居る。野菜作りは小面積の畑で至極のんきに作り得られ、又利益も多いので最近邦人間で盛に栽培するやうになつた。そして出来た品は自動車に積載して、ドン／＼市場へ出して販賣する。又毎週水、木、土、日の例市に出荷して一日数百圓の賣上げをなし、皆ほく／＼者で暮して居る始末だから、むしろ大取れより小取れで確實な良い事業として野菜作りへ轉向する者が多くなつた。

☒ 野菜作りの實況 ☒



へ菜來出のヨリーボツレな事見



園菜野と村農なかどの



島ギネとり作菜野



賣販く如のく斯し搬運ヘドーカリメは菜野たつ作

稲作



いならいは料肥もてつ作を何はルジラブ、期熟成の(米)スイロア



邦人米作とその住宅

☒ 邦人米作の實況 ☒



！九地王鐵の此と目▲海のヌノニマは明か法は



盛なん米刈取り作業の實況

米作事業（アロイス）

ブラジルの米は、カタテ、アグリーヤ、リオグランデ米等に分ち、すべて無肥料で然も至る處で作られる。サンパウロ州では、モジアナ線が主に出来、リオグランデ州がブラジル第一の産地である。故にリオグランデ米の出来、不出来によりブラジルの米價は變動を生ずる事になる。而してリオ州の大農になると、一作——數万俵を穫る百姓が多數あるが、又聖洲でも數千俵を穫る邦人農家は随分多い。普通米を作るには荒山を切り拓いてより四、五年間が一番よく出来る。又連續して作るも差支へない。米は天候が第一であるが、いくら土地がよくても早魃に見舞はれたら不作である。故に低地の温氣ある場所を選ばば間違ひなく出来るのである。

移民が獨立して事業する場合、先づ第一に米を植付けるが、都合よくいけば一作で五六百俵を穫る事は譯はない。荒山に作つた米は高さ五、六尺以上に成長し、仕事をする人の頭部を没する丈のものは珍らしくない。刈入れの時は大稻であるから適當にかゝへ込み、然る後これを刈取るやうにする。米は一アルケール（約二町五反歩）で普通平均七、八十から、多くて百五十俵以上穫れる處もある。されば假に十アルケール作るとすれば一作に壹千俵の收穫となるが、昭和十三年の相場は一俵伯貨五十ミルレースであるから、都合五十コントスとなり邦貨の一万圓になる譯だ。之が一回の收入であるから決して悪くはない。をまけに無肥料だから丸儲けである。ブラジルの米作は事業も大きく男性的であり、又壯觀である。誰しも茫茫大海の如き大米園を眺めて、一驚せぬ者はなからう。

バナナ作り

バナナはブラジル産物の一つである。殊にジュキア線方面の海岸地帯が盛んである。邦人農家も相當多いが、外人としてはイギリス人の經營するものが其の規模大である。バナナの種類は多樣だが、香氣ある低いバナナを多く栽培して居る様だ。房の大きい物は五六十キロより七八十キロ以上もあつて、小男では仲々擔ぎきれない。數百の實がぶら下つて居る見事なバナナは、苗木を植へて一ケ年後に實を結ぶのであるが、一本に一房の割に實を結ぶ。又一本の木には一年後に數本の小苗を生ずるから、其の繁殖も割合に早い。バナナは霜に弱いので、成るべく暖い土地を選ぶのを良とする。又余り乾燥する處も適當しない。大規模に作る者は園内へ鐵道を敷き、或は自動車道を造りて共作物の運搬等の便を計つてゐる。バナナは外人の食後になくはならぬ果實であるが、ブラジルよりアルゼンチン、ヨーロッパ方面へ盛んに積出してゐる。バナナは食後の果物として愛用せらるのみならず、續々加工して高尚な食料品として販賣する。



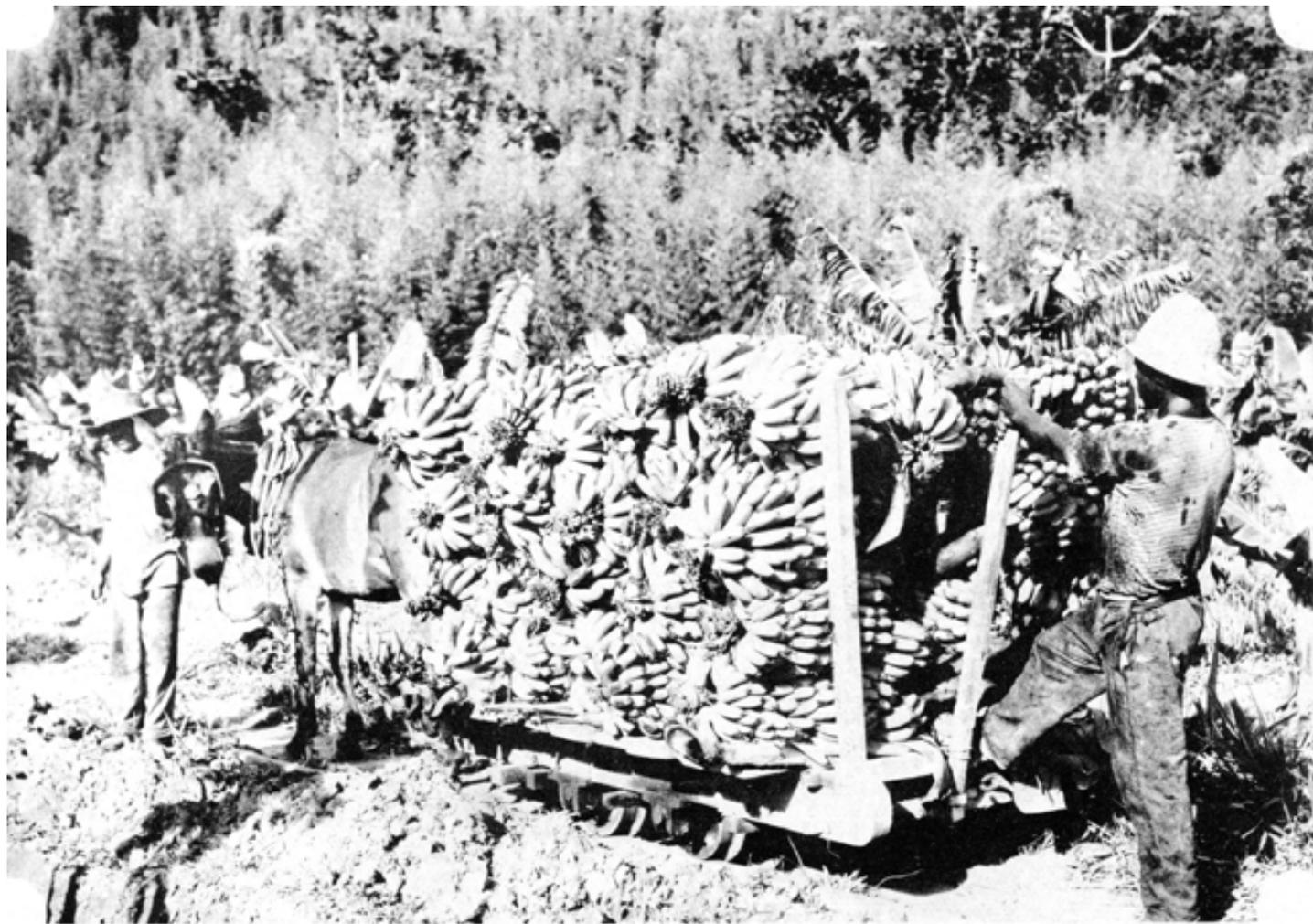
なさき大の此よ見・りぶ熟成のナナバナ事見



なさかやごなの此よ見・だきんの皆は姓百のルジラブ



るあも位ロキ十八房一とるなにのなき大がたしに肩をナナバク漸は人士の顔コロコロ



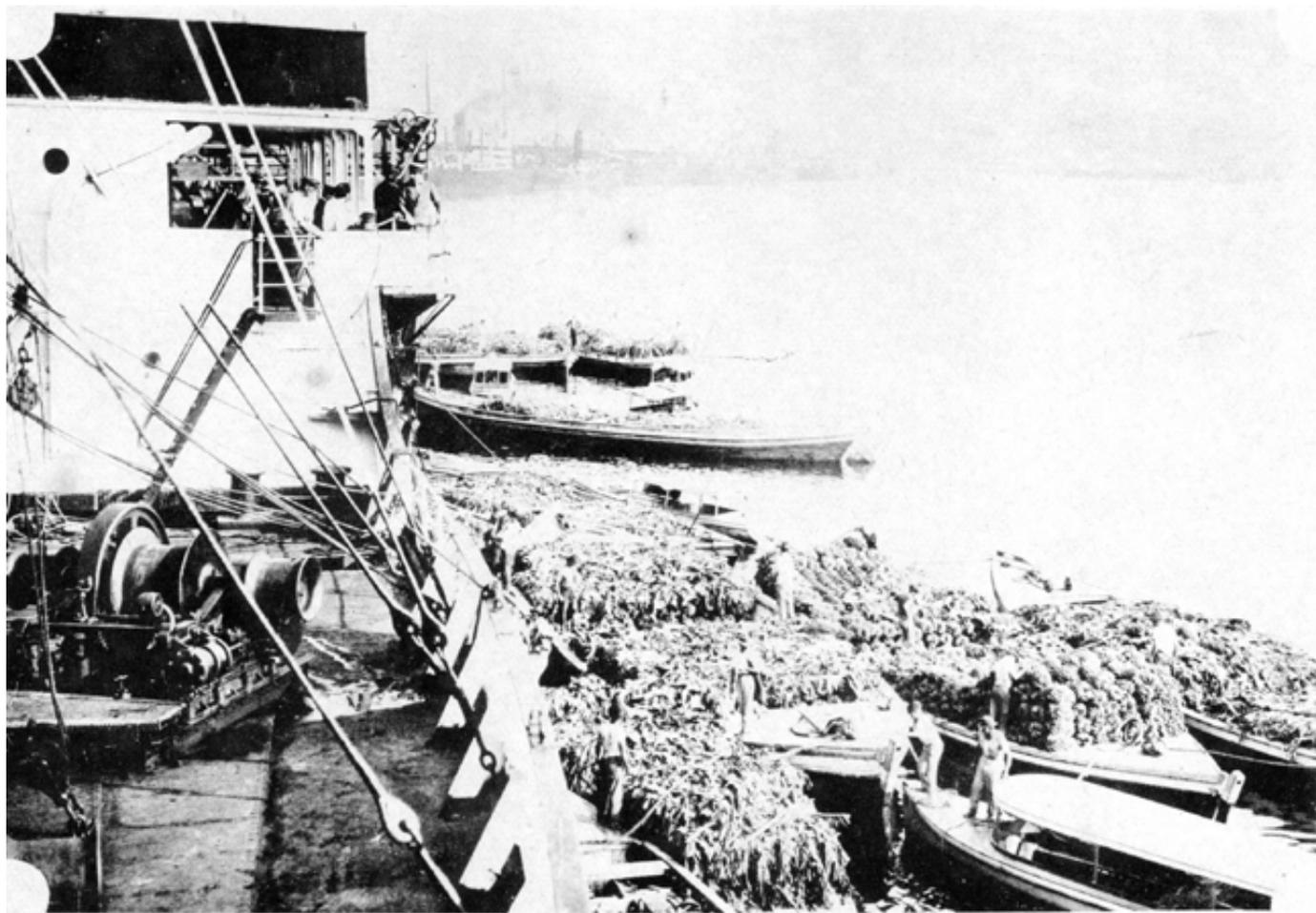
牛を使ひて鐵道搬運しつゝバナナ作りの實況



サトウキビ畑のバナナ園の探集實況



るあでのぶ運へ船汽に更に移に舟小てに處此はナナバナと搬運りよ山



同胞の作家たつばなは盛に入海へ輸出する

茶

業

ブラジルには、マテ茶、番茶等外人用のものはあるが、純日本茶として作り出したのは最近の事である。元より日本茶の苗は日本より輸入したもので、純粹の日本品と變りはない。茶は各方面に作り出したが、主としてレヂストロ方面と、セントラル線、モジスザフ方面が漸く盛んである。日本茶は最近外人間にも愛用せらるゝ様になつたと共に、邦人の増加するに従ひ益々其の需用を増す事故、將來有望と見られるに至つた。

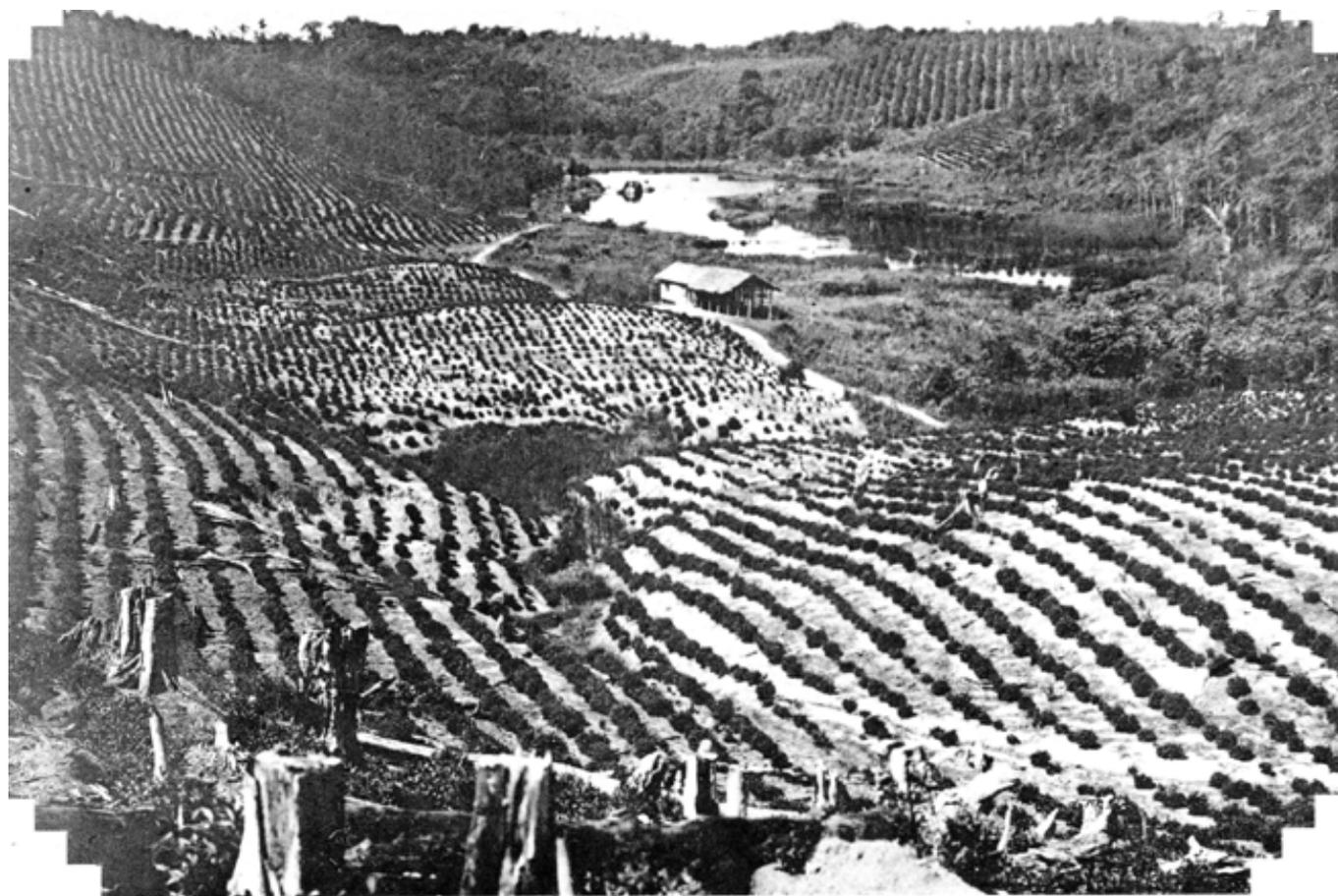
茶業の實況



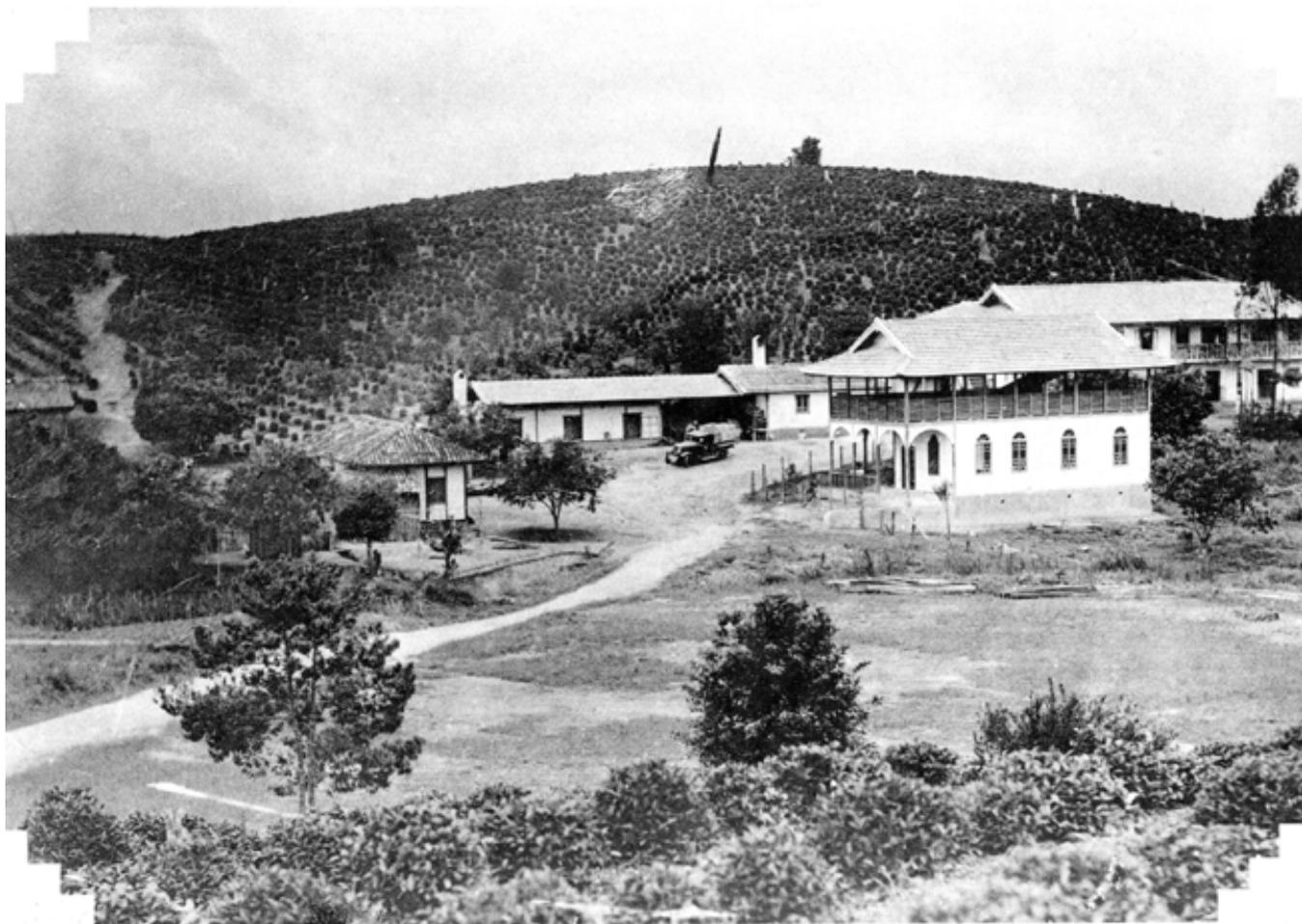
(一其) 景全の園茶人邦るけ於にルジラブ



況賞の集採葉茶

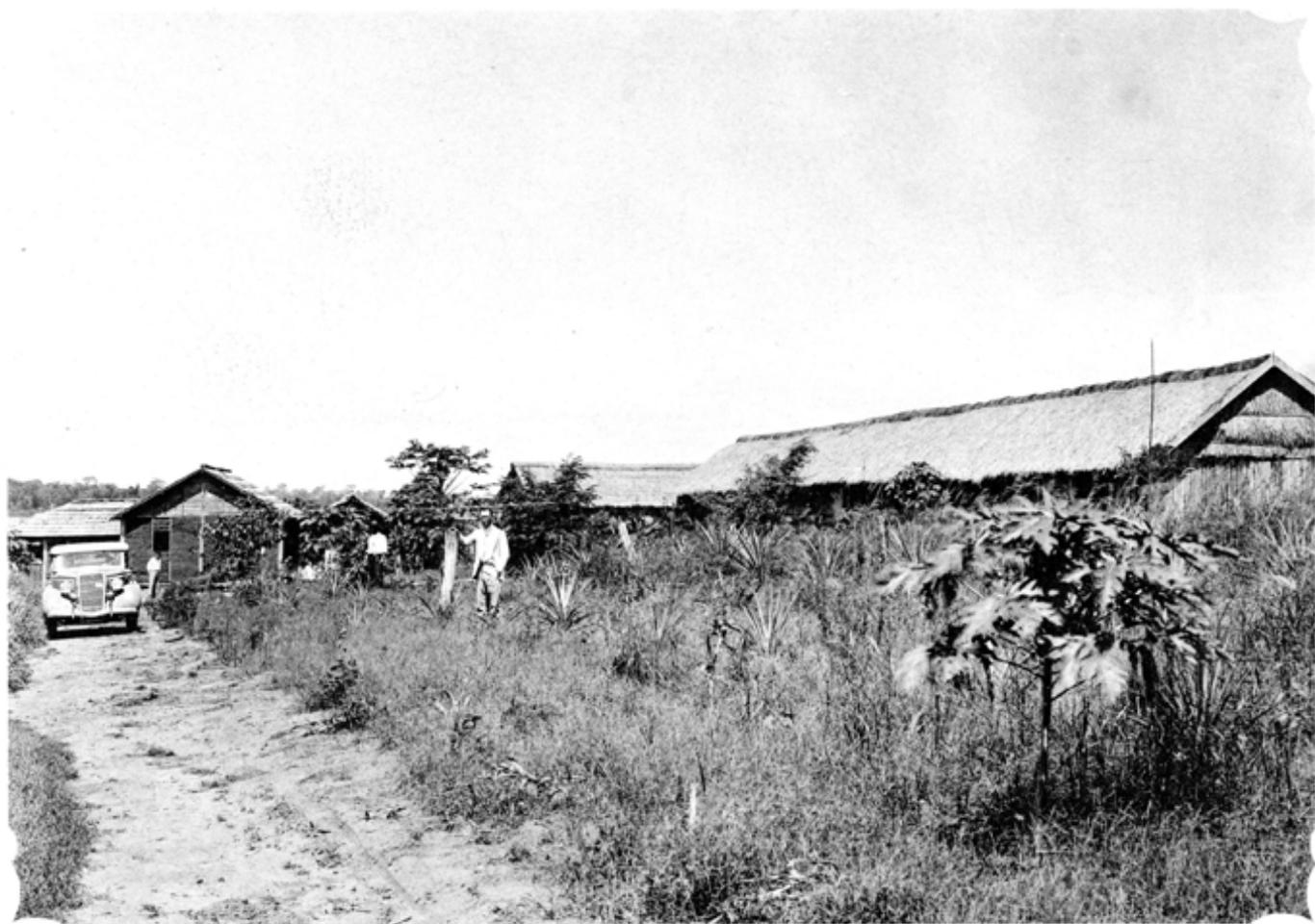


茶園の遠望



(二共) 景全の園茶人邦るけ於にルジラフ

△養蠶の實況▽



景全の家蠶養るけ於にルジラブ



る來出に樂は蠶養の回八、七年らかるみてつ茂が桑中年はルジラブ・況實のみ摘桑



群蠶健の前簇上



四 眠 頃 の 窠 兒

養蠶事業

養蠶は外人間にもたま／＼見受けるが、日本人の比ではない。日本人間に盛んになつたのは今から七八年前からである。最も盛んな所は何と云つてもブラ拓經營のバストス、チエテの兩移住地である。

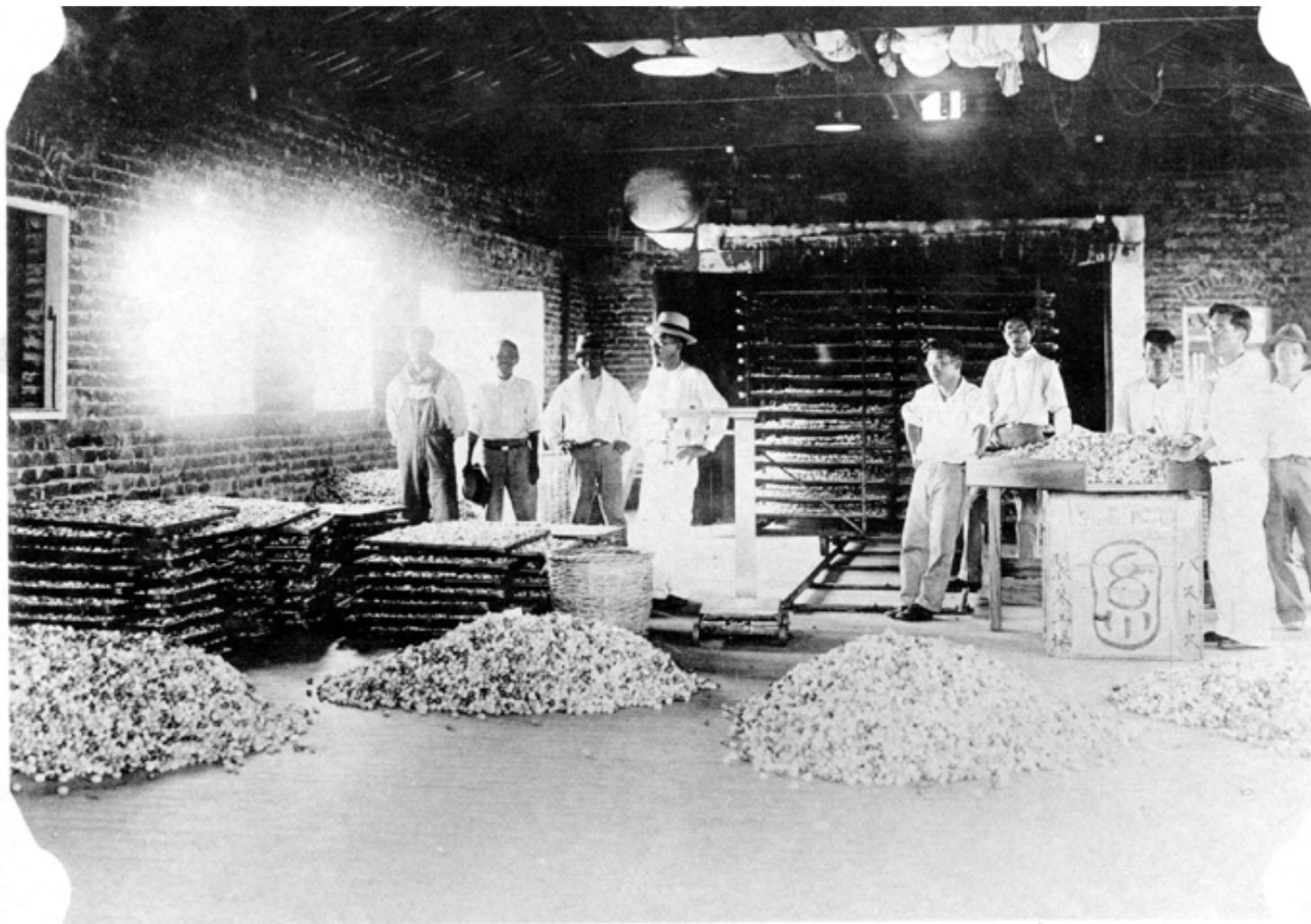
こゝには製糸工場、絹織物工場等が在り、養蠶家の援助、促進を計つて居る。出來たマユは從來外人經營のカンピーナス製糸工場に販賣する他に販路なく、先方の云ふがまゝに買取られ、然も代金は數ヶ月後に支拂ひを受けると云つた状態で、其の獨占、横暴に苦しんだものであつたが、前記ブラ拓事業となり其の不都合は取除かれ、猶且取引迅速にして値段も良いので、養蠶家も増加する様になつた。ブラジルの養蠶は母國のそれに比べると、實にのんき過ぎる程手軽に出来る。蠶種は前は工場から無料で分配せられ、年中常夏の國故、桑の繁殖もよろしく、むしろ出來過ぎる位である。又蠶の發育も良好であるから、従つて養蠶法も至極簡單にして、上簇の際は椰子の枯葉、草、藁等の上に置けば、譯なく立派な繭を作るのである。そして年に八回も産卵するから驚くの外はない。ブラ拓經營の（バストス）の移住地に行けば養蠶家一家族に對し、伯貨十二コントスを貸し、蠶室建造を援助するのである。然して養蠶専門にして一年平均十二コントス以上を上げて居るから、女小供の多い家族では持つて來いの事業として益々歡迎の聲が高い。今バストスの養蠶家は數百家族あり、フランセースの赤瓦を葺きたる玄關附の立派な建物が美しく軒を並べて居る。



室置養の中簇上



室鼠糞の中簇上



場燥乾糸製ストスバ

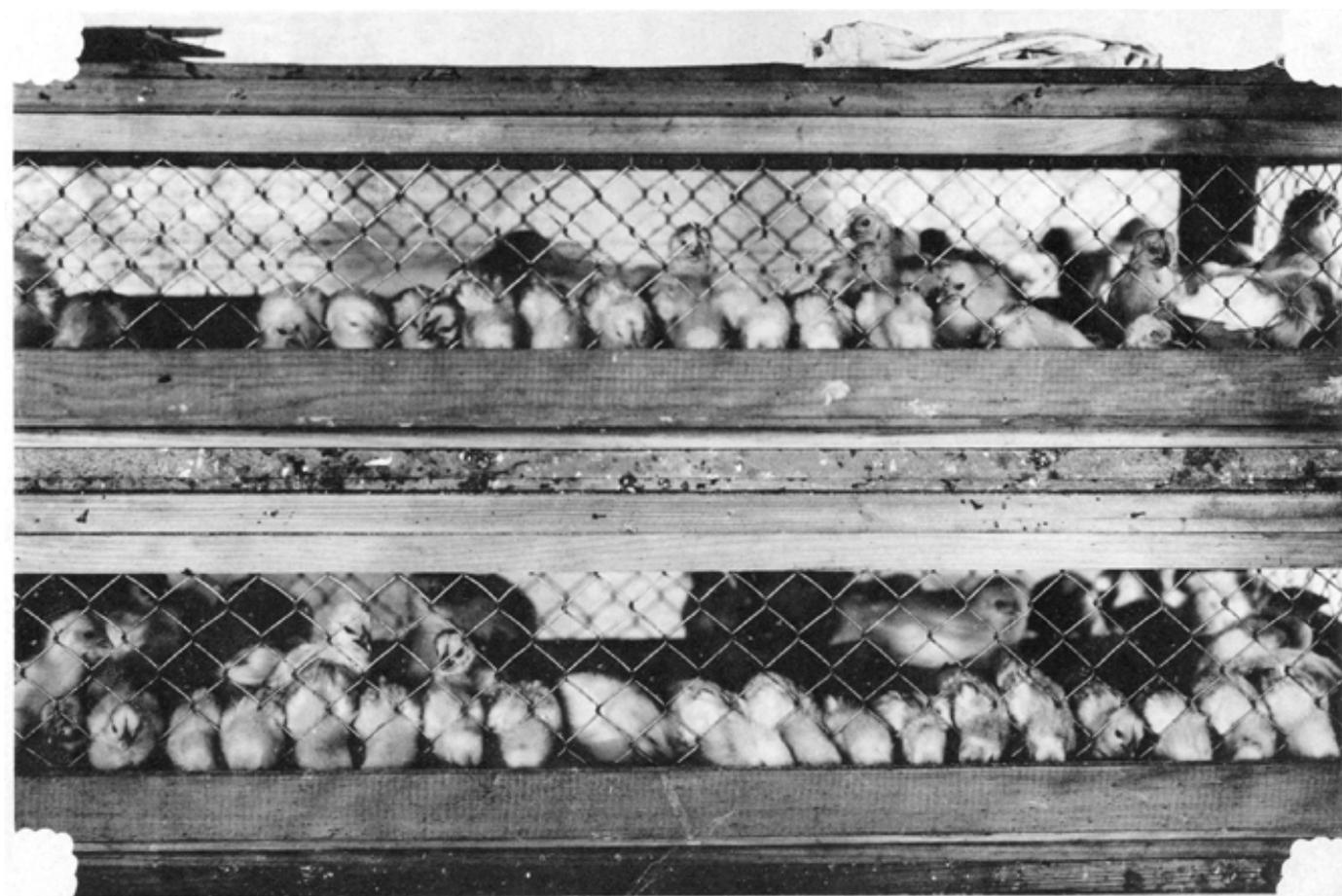


娘本日部全は工女・況實の糸製るけ於に場枠小場工糸製ストスパ

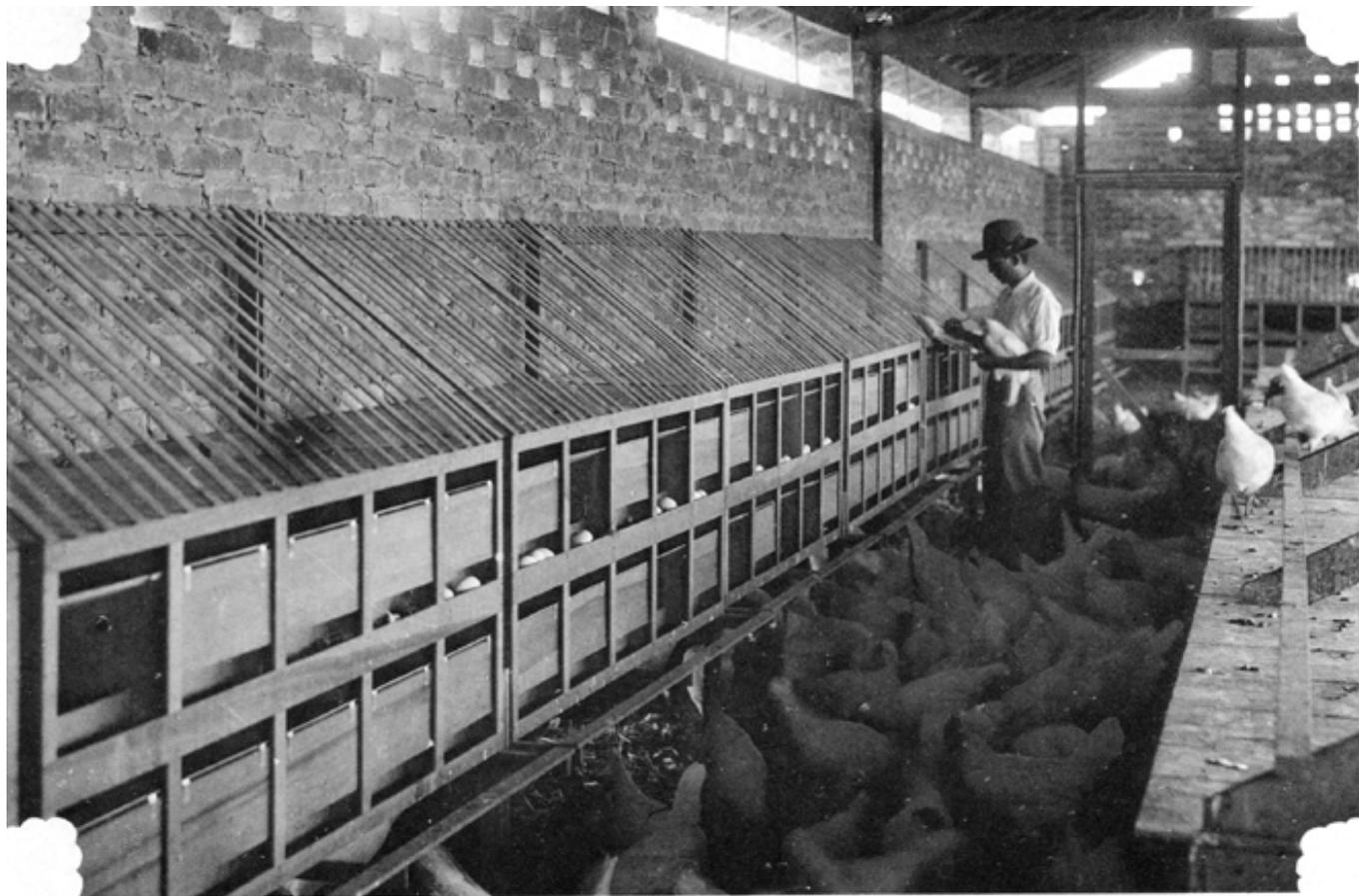


況實の那利るあゝつし化解々續りよ器卵孵

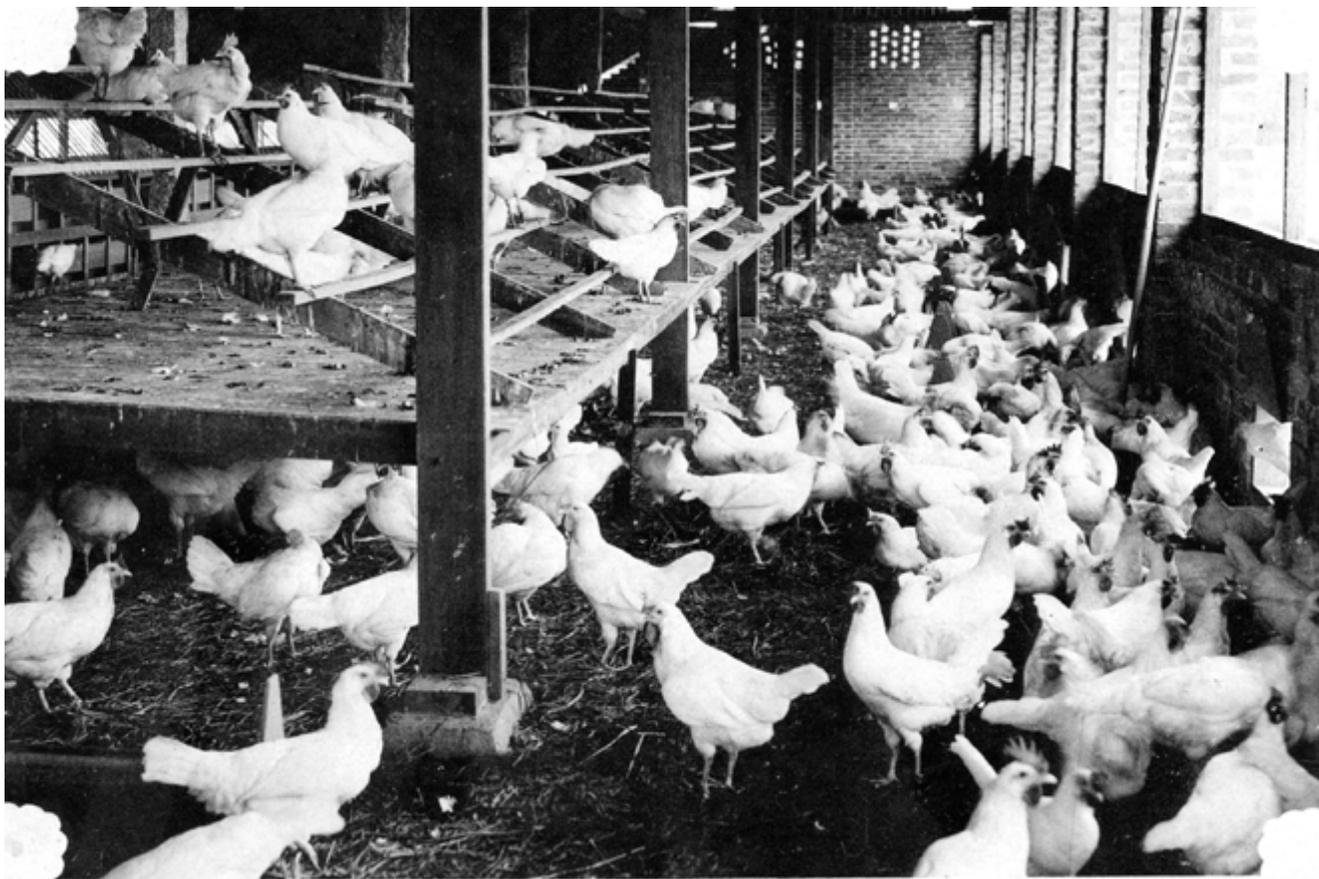
鶏 養 ☒



群鶏幼るけに後間週一後生



産卵場とその成績調査の状況



備設部内の舎鶏



ボルコも大きいものになると百五十斤位のものは珍らしくないが
時々屠殺しては食料とする・黒人を雇つて屠殺の實況



頭店の場市コルボ・ドーカリメ市ロウバンサ



一其 (ソロゲンマ) 場豚養



二共（シロゲンマ）場豚養



桃園の採集實況

採集時季のいちぢく





採集後に於てはブドウ園の入手



畑柑密の中最眞集採

果樹栽培事業

果實は外國ではソプリームズとて食後に必ず一つは食べるのである。従つて其の需用は廣く、専門家は莫大な利益を上げて居る。邦人間にも漸く盛んであるが、聖市郊外とセントラル線が有名である。其の主なるものは蜜柑、桃、葡萄、いちまゝ、梨等で、養鶏の傍ら年に數十コントスの利益を上げて居る。然し植付後いちぢくの外は四五年後でないと言ふと金にならぬから、一寸手輕には出来ぬ事業だ。然し植付後は除草さえすればよいから世話はない。だから農家は副業として之丈には是非やる必要があらう。

漁業

邦人の漁業は川と海とあるが、川はチエテ川、パラナ川等であつて、網、火薬等を以てするが、やはりサントス海岸でやる海漁が盛んである。然して釣漁よりも網漁が盛んである。網を曳く場合、従來數十名の外人工夫を使役したのだが、最近經費節約上、牛を使用する様になつたが、牛は經費のかゝらぬ計りでなく、仕事の能率が上ると言つて居る。ブラジルの海濱は不思議に砂濱が堅いので牛の歩行に差支へないのみか、貨車、自動車に積込みの際、水際迄往來出来るのは妙である。漁獲物は直ちに汽車に積んで各方面へ輸送する。邦人漁業家は主に沖繩縣人が多い様だが、成功者も仲々多い。



景光るあゝつり取を魚にん盛りよ網たし陸着



況實の網引地るせか引に牛てし用利なのい堅の土と爲るす約節を夫人

◀ 況實の業漁ストンサ ▶





船漁人邦るす搬運を魚



へば來出のしいーラカるあ稱のしい山



カンナ.....砂糖さびの出産ばえ



1935年8月10日

農 林 副 業

農家の副業には色々あるが、養鶏、果樹を除く外は先づカンナ(砂糖キビ)を上げねばならぬ。カンナはビンガ酒、砂糖等を造る材料として必要な植物である。毎年雨氣に植へ翌年秋に穫入れをなす。ビンガは外人は勿論邦人間にも愛飲する強烈な酒であるが、値段が安いので販路が廣い。

マンチヨウカはブラジル人の食料の一つで、粉末として用ふ。其の味は日本のカタクリに似て滋養に富み、食料の外製菓に適する。いもは蒸して食べると柔らかくて甘く、栗のやうな風味がある。

マンチヨウカを作るには時期を問はず、五、六寸位に切つた小枝を一メートルあきに土に差入れて置くと、自然根を作り芽を出して、五、六ヶ月すれば澤山のいもが出来るので、其の栽培は至極簡単である。

カラー芋 邦人名はドロいもと言ふ。芋種をまけば日本の山芋の如く蔓を生じ、其の根元に無数の子芋を生ず。然して其の成長したるものを食する。先づ生姜下しで下し、其のドロ／＼を吸物汁又は飯にかけるなどして食べる他、用途は實に廣い。

ミーリヨ(唐モロコシ)ミーリヨは人の食用とする外、ブラジルに於ては牧畜用として多く用ふ。棉、パタチンヤ、カフエー等の間作にするのであるが、又之れを専門に作る人もある。多作者は十アルケール以上も作るので相當の收穫がある。一依の値段が二十ミル内外として毎年十數セントスの利益を上げて居る。ミーリヨは毎年十月頃種を蒔き、翌年四、五月頃收穫するを例とする。

菓 ブラジルでは菓は酒と共に作り放題である。だから皆自家用として栽培する。又多量に栽培すれば其の利益は多いものだ。八、九月頃に蒔種して翌年一、二月頃より摘採を始める。摘んだ菓は蔭干とし半乾きを待つて除々に繩狀に巻き、尚乾くに伴次第々々に巻き締めて作るのである。出来た菓は黒褐色を呈し、粘りを生ず。伯人は之れをナイフにて削りミーリヨの皮に巻いて吸ふ。普通の煙草にも製造するが、之れは概ね煙草工場で作るのである。

アバカシ——一名バインアツプルとも云ふ。専門農もあれど多くは自家用位の程度に作るが多い。年中時期なしに作るが、降霜を忌む爲に寒い地方は不適當である。アバカシの木が成長すれば木の節々に澤山の子生へが出来る。其れを取つて移植すると、體て立派な實を結ぶのである。食後の果物としては又格別である。

花作り——花は之まで外人の獨占の事業の觀があつたが、最近邦人間にも農家の副業として漸く着目せられる様になつた。西洋花の傍ら日本花としてコン菊、百合花、大菊、朝顔等いろ／＼移入栽培をして居る。毎朝市場には百花美しく人の足を止めて居る。花は小面積の畑を以て足り、小家族で出来る存氣で美しい事業である。然も女小供の手を以て毎日數十ミルを賣ると云ふが、若し之れを他國式に一步進んだ栽培法を以てせば、將來大いに見るべきものがあらう。

養蜂事業——養蜂は邦人間に専門家もあるが、未だ副業者が多い様だ。養蜂は果樹園に近い所が適當であるから、セントラル線方面が盛んである。此事業も副業としては決して悪くはないが、邦人として未だ／＼研究、發展の途上にあるやうだ。



景の畑苳・るあで業副の家農もり作苳



へば来田の其と熟成のシカバア



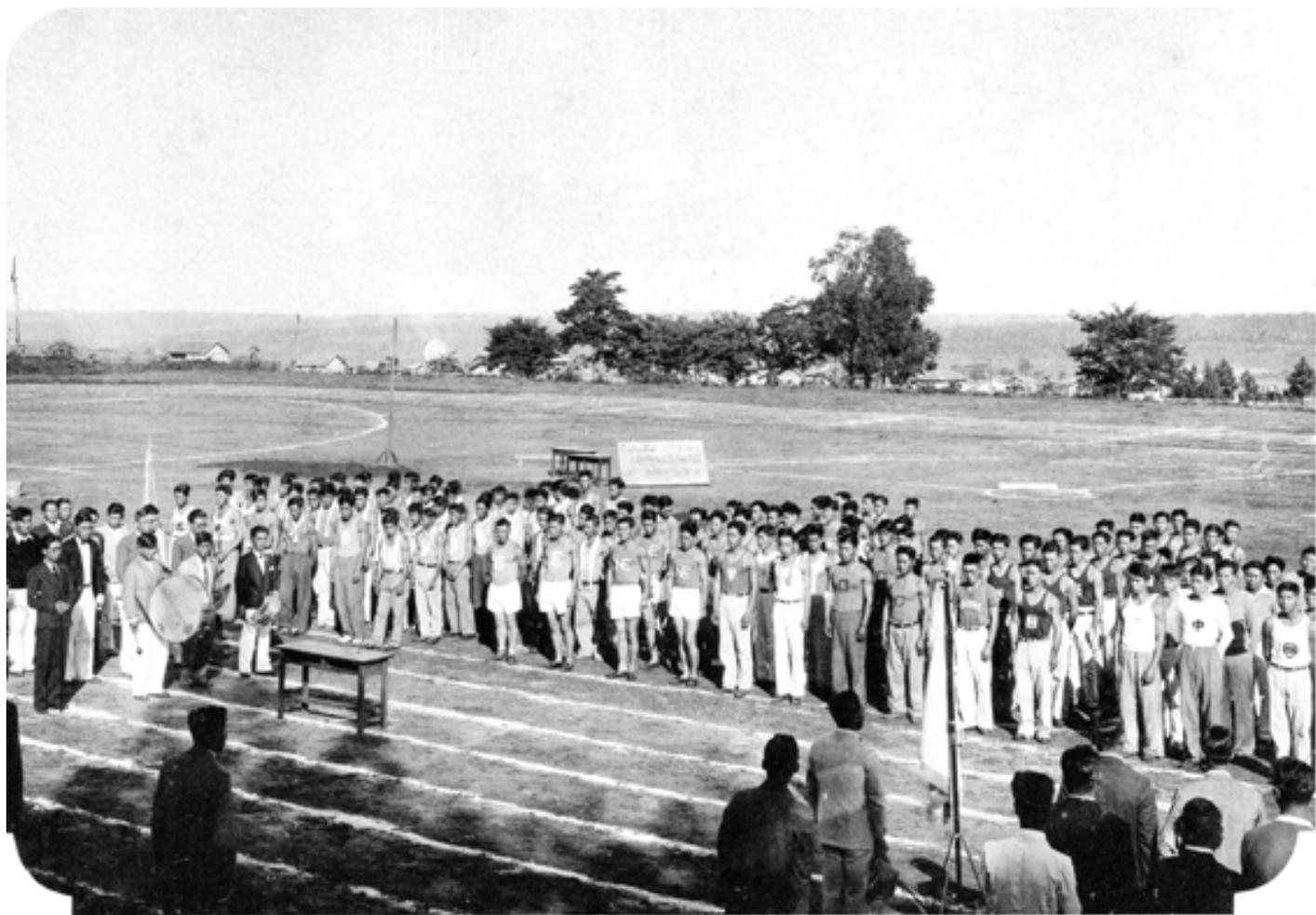
るあで合都好らかるあが花中年で夏常はルジラブ・るあで入盛來近てしと業副の家農も蜂養



農家の副業として花作りに漸く盛んである

在伯日本人小學校に於ける天長節祝賀式





在伯同胞青年陸上競技場式

◀ 天長節の祝賀餘興 ▶



在伯少年野球選手の一隊

天長節の余興と殖民地の慰安會

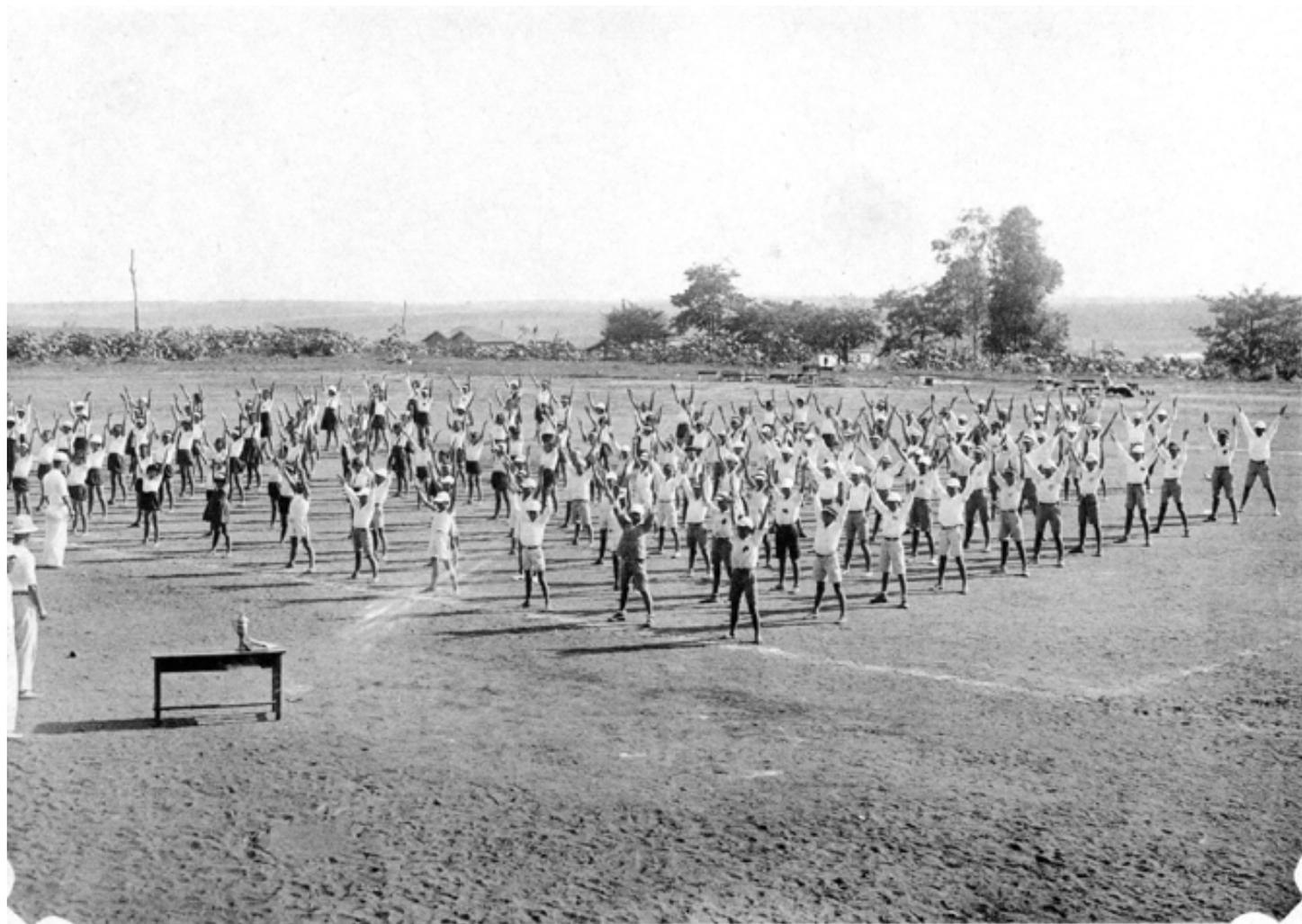
在伯同胞として一番楽しい時は何と云つても天長節である。此日は在伯官民一同業を休み、各種民地の學校では遙拜式を舉行し、聖壽の万歳を祝ふ。終つていろ／＼の余興に移り、其の日を穿出度愉快に送るのである。先づ天長節は其の前日より各準備に取りかゝり、山海の珍味を作り、家族一同打揃ふて見物に行く。晝は學校で運動會あり、相撲あり、夜は芝居、手踊り、シネマ等、部落々々でいと面白き余興をするが、仲々賑かで楽しい年中行事の一つである。在伯邦人の中には芝居、手踊り、三味、大鼓などの元本職が相當居るので、内地の田舎芝居よりむしろ上手な團体もある。又處女達の手踊りには、東京音頭、バストス踊り、製糸踊り等があるが、洋服の國で派手な日本の振袖を着て踊るのは美しくも又懐かしい感がする。此日の余興は外人も喜んで見物する。相撲は總て日本式だが、只變つてゐるのは猿又の上に廻しをするのが可笑しく見へる。之れは外人の前だからである。最近邦人間に幾組かのシネマ營業者が出來て日本映畫を輸入し時々巡回興業するので、日本に居る様な氣持である。



在伯少年野球大會之實況



在伯少年野球大會之實況



邦人小學生の聯合體操の實況



陸上競技場と邦人集の園

△ 殖民地の慰安會 ▽



芝居は大槪學校を利用する、この日は新舊藝題とあち・ラブリで三味線は懐い



面場のラバンヤチ治忠定國・るあで物見居芝は處此



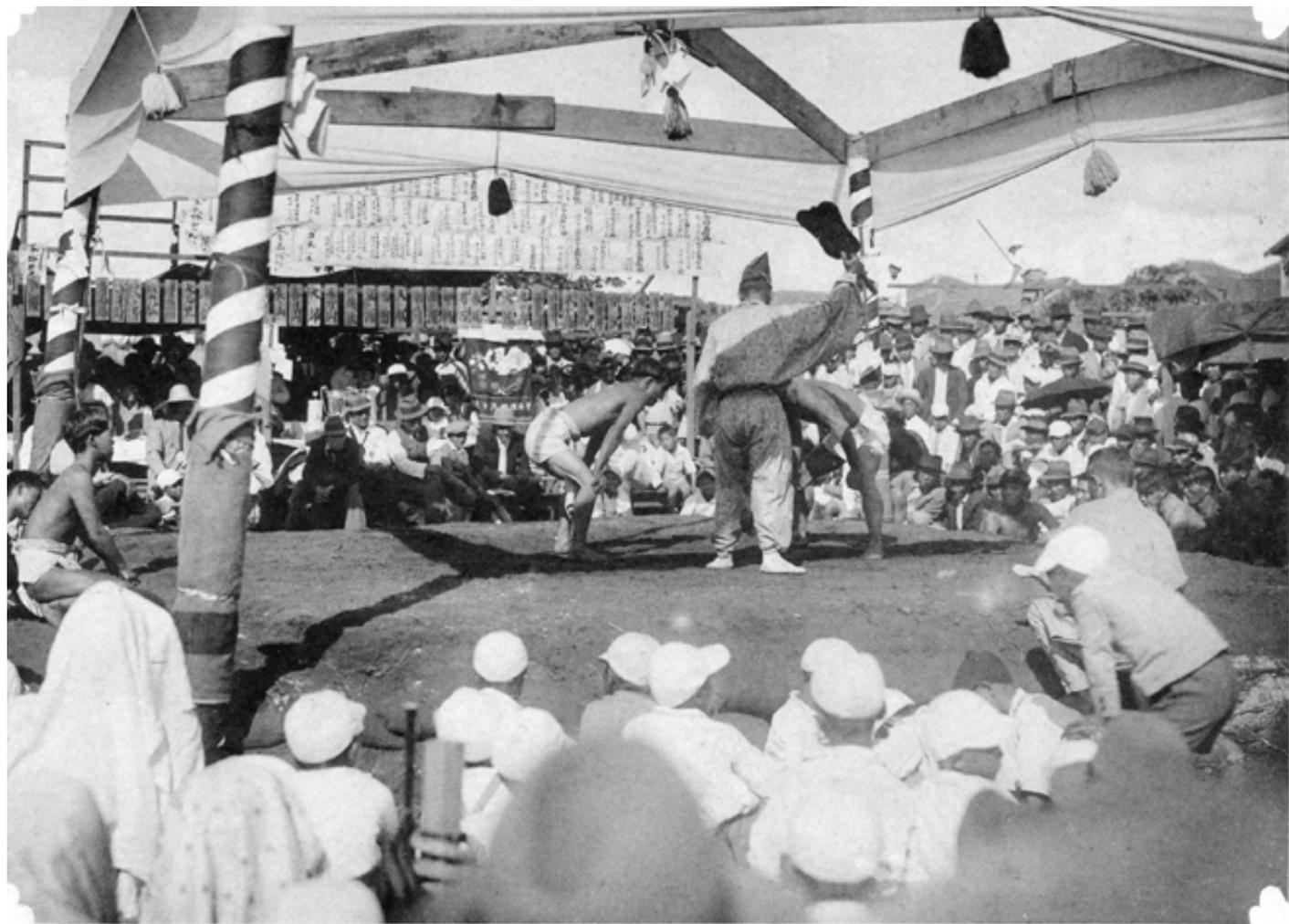
此處も祝日本踊りの賞況



り踊手興余祝奉の節長天もれこ



相撲場の風景・集まる人々、この日とるに居る氣持であらう



農家の安んずる相撲は毎年各地で催され、外国に上るタマルサの廻しをたしむるに注意



い白面もり踊手の娘本日・るま始が興余に所各は夜



達女處の本日るあ、つり踊を頭音京東

懐しい日本服装と花見ボンボン提灯



△カルナバールの餘興▽



たつ作を隊艦合聯女男は員會女處年青



外人も大浮にれつなて練り廻る

カルナバル。

カルナバルはブラジルに於ては年中行事の一つとして必ず二、三月頃に舉行する。先づ各洲政府より余興費用として多額の補助があり、都市の裝飾をなし、人々は皆思ひ／＼の變装をして徒歩又は自動車で町内をねり廻るのである。伯國ではサンパウロ市、リオ市が一番賑かである。カルナバルは外人にとつては一年中での最大の歡樂日であるから、幾日前から余興の練習をなし、服裝を描へ、鳴物入りで物質を惜まらず浮かれ騒ぐのである。中でも黒人達が熱心らしく、其のやり方は仲々凝つたものである。カルナバルの余興は二日間としてあるが、其の二、三日前よりドンチャン騒ぎが始まり愈々當日になると、街道は數万台の自動車と人の山を以て埋まり、毎年相當の死傷者さへ出る有様である。又市中はテープ色紙を以て埋まり、イルミネーション、ネオンサイン等の裝飾美しく、全く歡樂の世界と化してしまふ。



たせば喜を人邦し擬模を店茶の山野吉の漫爛花櫻はルーバの人邦或



たつ廻り練てつ造を船汽は合組人商



邦人装束の自動車運動の勢揃ひ・パスト市街地に



或工場變裝のハピ姿も勇しまく市中練り廻つた



るあに山澤のもるせ育飼を頭百數、で人邦る賣に牛肉は又り造を料養滋の々色ら傍の乳牛・いき大當相は業事畜牧



るあで景風珍に賃人黒は者馭す用使な牛の頭数もにく曳な材木の本一い悪が路道は地奥のルジラブ



ブラジル州ナラバに似て松本見一てしに材用の産特ルジラプは（松ナラバ名邦）樹ロイネビ



るあで景風珍に賞がる見を山の蟻す必げれず行旅を地奥のルジラブ………山の蟻



るあで物果いと味美してと・る實に数無れば天と王の實果ムジラフはガンマ
るす要心意注は當然にかふ云とるす海申とガンビと然



いながられ窓は極の基とるれ顔ひ食がる右で物果赤野の境時ハジキアはソキキ

ブラジル郊外の雑観。

バスト——バストは牧場を意味し、牛、馬、羊、豚の類を放畜する廣漠たる草野で無数の牛馬を放ち、豊富なる牧草の中にて自由に成長する。邦人の牧畜業者としては現在見るべきものがないが、外人間には大なるものが澤山ある。そして大なるものになると、数千頭、数万頭を放畜するが、多数の工夫を使役し工場を持ちて、ケイジョ、マンチーカ等の食料の製造は勿論、牛肉、ミルク等を市場へ販賣してゐる。然してバストの面積は数十町、数百町歩に及ぶのである。

蟻の山——蟻の山は汽車旅行する者は誰れでも見受ける奇観であるが、其の名の如く蟻の住家である。此蟻は日本の白蟻の如く相當被害がある。平野の草の中より無数の赤き土山を並べたる處は誠に美しいものである。其の大なるものは高さ二メートル以上に及ぶものがあり、ブラジルの名物の一つである。

ビネイロ樹——此樹は主にパラナ洲に産し遠望は恰も日本の松に似てゐるので、邦人はパラナ松と呼んでゐる。此板は日本のモミの板と同様にして、天井板、戸棚板用として廣く用ひらる。又ビネイロ樹の風景はさながら油絵の如く、ブラジル風景の一つとして数へらる。ビネイロ樹の實は栗の様で美味く、人々は之を賞味する。

トオラ曳——ブラジルの奥地に入れば今尚原始的であり、車道惡き爲め荷物の運搬には總べて牛馬車を以てする。貨車には數頭の牛を繋いで曳かせ、黒人が先頭に立つて之を使ふ。中にも大木を運搬する時は一貨車に付き十數頭の牛を繋ぎ勢ひよく運搬するが、之はブラジルでないと見られぬ珍風景である。

58

ブラジルの植物と果實。

マンガ——マンガは伯國に於ける代表的果實である。殖民地の至る處の農家にあり、種を蒔いて三年位たつと實を結ぶ。大木になれば數千の實がなり、其の味は高尚にして外人は盛んに之を愛食する。サボテン——サボテンはブラジルの野生にして熱帯植物である。黄色の美しい花が咲き、其の實は柿の如く美味な味を持つ。外人は喜んでこれを食するのである。

バイネーラ——バイネーラは邦人は棉の木と言ふが、天然棉を出すを以て其の名がある。四、五月頃に花が咲き、遠望は恰も日本の梅花を彷彿させるものがある。邦人は母國の梅を慕ふ余り花見に出かける者さえある。花の後にはコブシ大の實を結ぶ。やがて其の實が破碎して中より天然棉を噴く。此棉は枕、座布トンを造るに適し、其の價格は普通棉以上である。

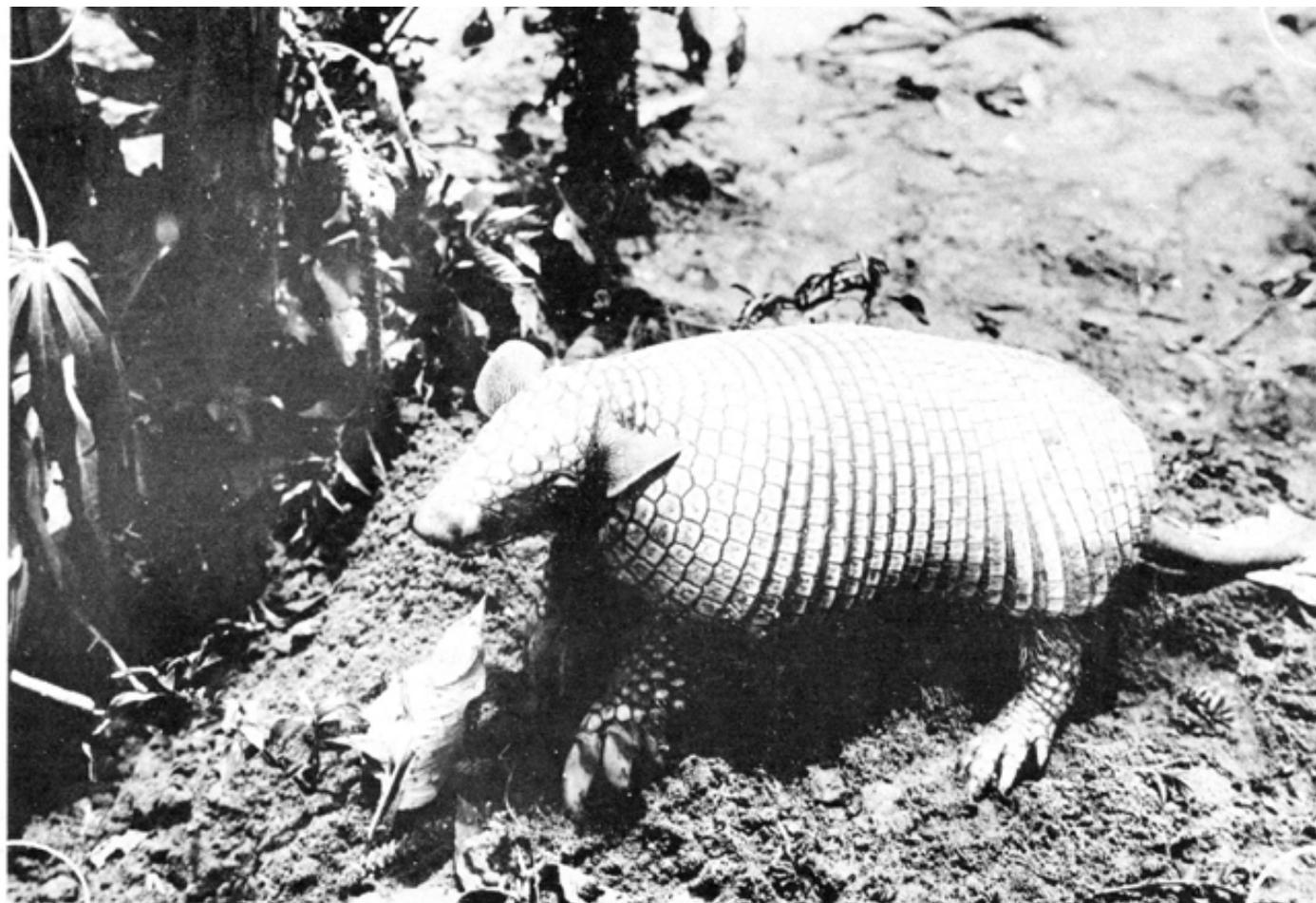
マモン——マモンは熱帯果實にして然もブラジルには年中無盡蔵に産し、其の種類は多様であるが、皆食後の果物として愛用する。マモンは降霜に弱いので、暖地に植へるを適當としてゐる。マモンには男マモン、女マモンとあり、男マモンの花はシダレ枝に咲き多く實を結ばないに反し、女マモンは花の莖短かく悉く實を結ぶ。マモンの味は恰も日本の甘柿の如く美味である。然し其の種類によつて味の不味いものもあるが、少し馴れると其の種類を一見して、味の良し悪しを見別ける様になつて来る。マモンは間食にするのみならず、最近邦人間に於ては漬物とし、或は菓子に作つて食べてゐる。



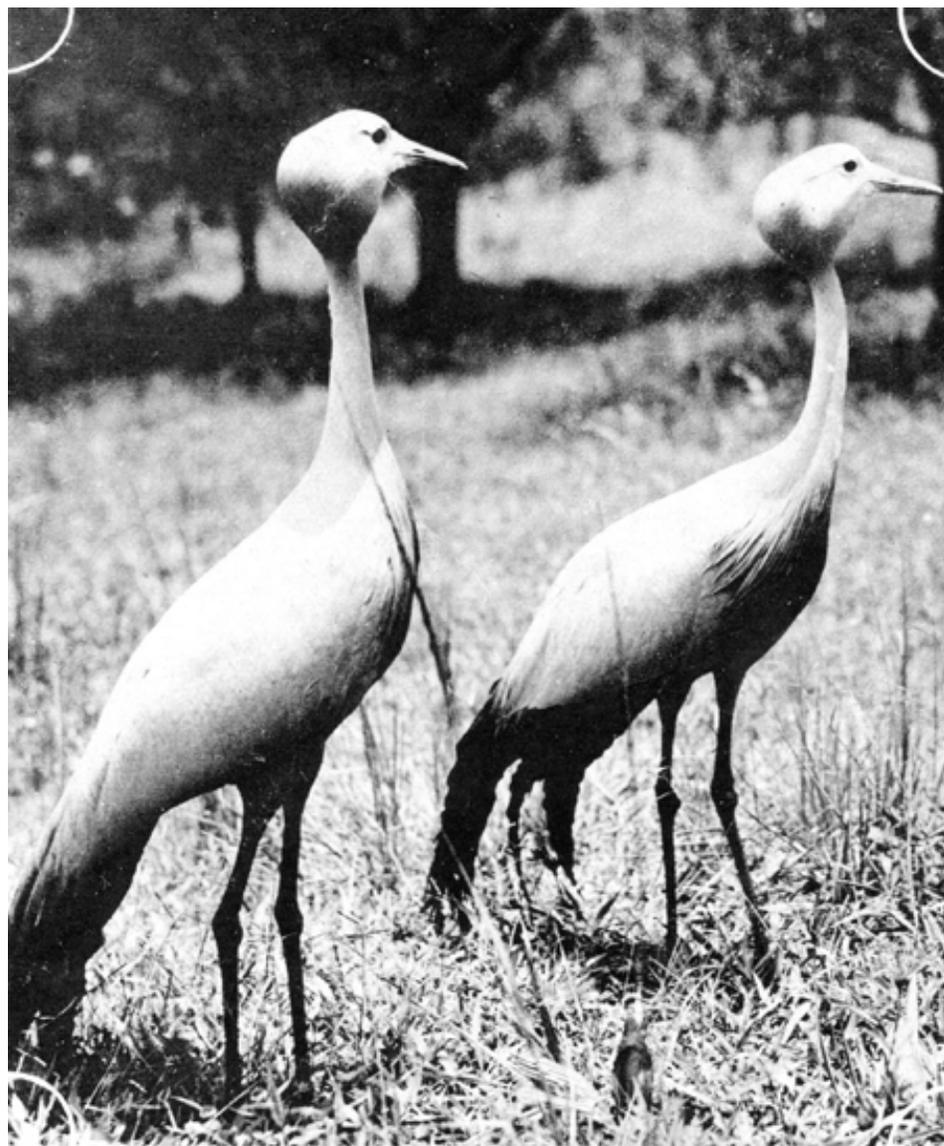
は春いしら珍てこと物植生野ルジラブはンテボサ
いし味美く如の柿甘は實の其き開花き如の草壽福の本目



るあで様る見を花櫻の本日も恰・り盛花のラーネイバいし美



ブラジルの特産山亀の稱あるタツウ



鳥サルガ産特ルツラブ 山の間池は又沼のりに見受けられ純白にこの鶴の如し



鳥ノ一カツいしら珍でルジラブ



すせ害に畜人ぶ及にルトーメーはのもるな大てじにく如の鱗型体 トルガラ産特ルジラブ



ブラジル特産アラウラ鳥
本鳥は其の珍型と羽毛の色彩極美を以つて有名なり

ブラジルの動物。

ツカノ鳥——ツカノ鳥は原始林の中で澤山見る事が出来る。此鳥の嘴は自体の半分又は胴体と同じ長さを有し、全体の大さは日本の山鳩位の鳥である。嘴の色は白又は黄にして、喉頭の毛は黄赤にぼけ、羽根は眞黒にして實に美しい鳥である。高い樹の枝から枝へ數羽連れ立ちキヤー／＼と奇聲をあげて飛び廻つてゐる。

ガルス鳥——ガルス鳥は其の体形鶴の如く純白にして、尾端は少し黒色を有す。よく池沼の邊りに棲息してゐる。其の大きさは日本の白鷺位あつて、實に高尚な鳥である。

ババガイ鳥——ババガイ鳥は其の種類多く、体形、色彩等多様であるが、何れも羽毛美麗にして愛玩として飼育せらる。ババガイ鳥はブラジルの山野至る所に棲み、數千、或は數百の群をなして飛ぶ。此の鳥はミリーヨ米等を食し、秋の收穫期には農園を荒す事がある。ババガイの中で一番多いのはチリーバ、ピリキツト等である。又大形のババガイは教育すれば人語を眞似て上手に喋るやうになる。

スクリ蛇——スクリはブラジル特産とも云ふべき大蛇である。水陸兩棲にして森林地帯の池沼、河川等に棲み、魚類を常食にしてゐる。時々森林の中で出逢ふ事がある。其の大なるものは胴の廻り一メートル以上にして、長さ十メートルに及ぶものがある。土人の話では時々野山に現はれ牛馬を呑むが、人には害を加へないと言ふ。スクリはアマゾン河に棲むものが一番大きいさうである。

ドラード魚——ドラードは至る所の河に棲息してゐるが、アマゾン河で獲れるものに大きなものがある。土人の漁師は網を以て一度に數百尾を漁獲すると云ふ。又大きなものになると二メートル以上のものがあり、土人が釣に行つて一服せんと釣糸を足に結んだ時、魚が喰ひ付き人諸共河に引摺込まれ溺死した事があると云ふ。

ブーグレの女——ブーグレはブラジルの土人で、普通人と交際せず、又言語通せず、勿論字を解せず、常に森林中に假小屋を建て、住居するが、奥山深く潜入し普通人の目にかゝる所へ姿を見せない。彼等は女と雖も裸体にして、僅かに局部のみを布切れを以て蔽ふと云ふ。又彼等は弓を引くが巧みにして、鳥獸を捕ふるに弓を以てし、百發百中だと云ふ。又外敵に對しては毒矢を放ち敵を倒すと云ふ。サンパウロ博物館には彼等の遺品が參考として澤山陳列されてある。

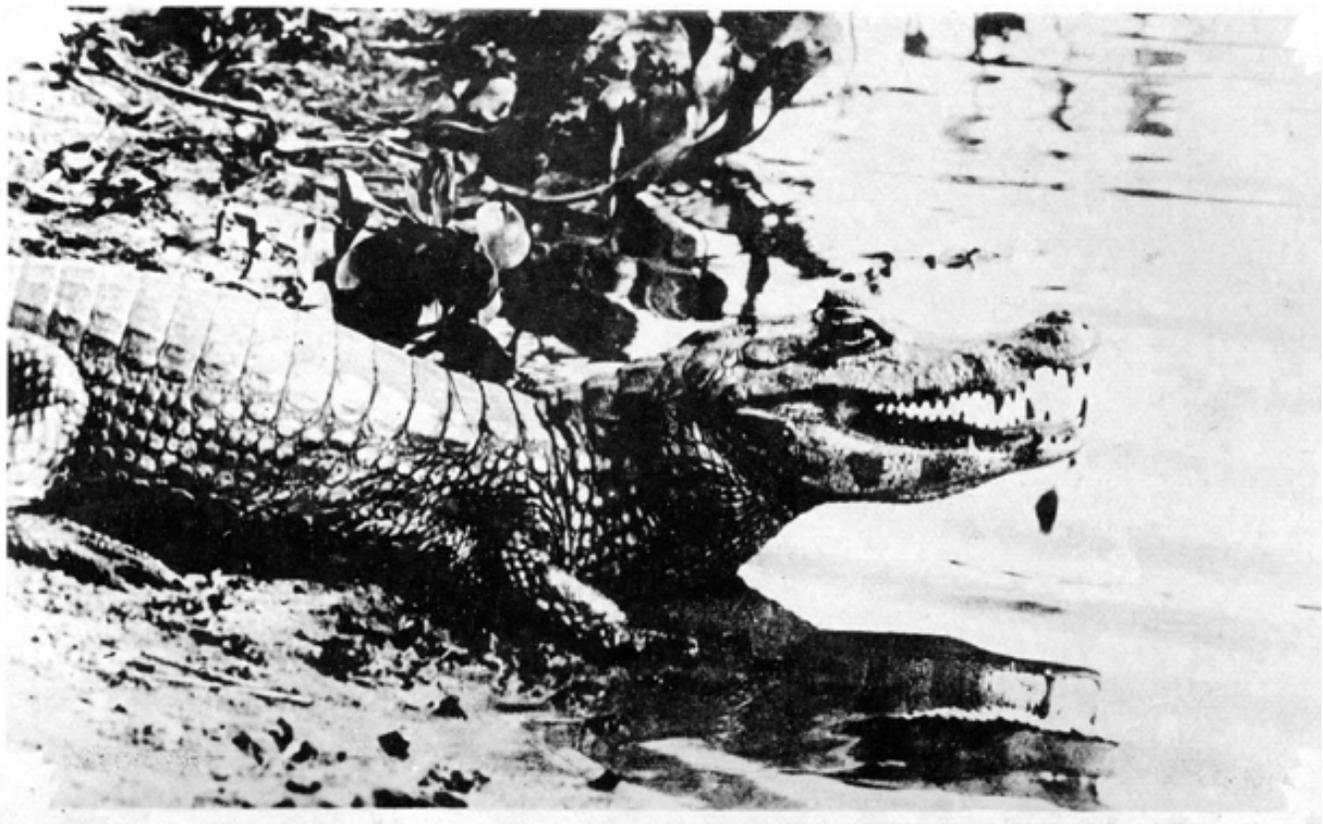
ダイヤモンド採り——ダイヤモンドはブラジルの各地に出るが、中にもアマゾン河邊が多い。邦人の内にもダイヤ掘りをなすものがあるとの事だが未だ成功せず、外人の中には何年ぶりに數万圓のダイヤを掘り當てたと云ふ話を時折り新聞に見る事がある。

鱒——鱒はブラジルの至る處の河川、池沼等に棲むが、アマゾン河のが一番大きく且つ澤山棲息してゐる。ブラジルの鱒はアフリカのと異ひ瘴猛にあらず、人を見て逃げると云ふが、大きいのは五、六メートル以上もあると云ふ。

アマゾン河上流に於けるダイヤ探りの實況



南米アマゾン河に棲む大鱈





南米アマゾン河に棲む大蛇スクリ



南米アマゾン河ピラルクーと人魚の大漁實況



ブーグレ族の女たち



大正十一年七月九日 被災の街景



大日本日報社 本館

大正十一年七月九日 被災の街景



大正十一年七月九日 被災の街景



大正十一年七月九日 被災の街景

バストス移住地風景。

バストス移住地は聖市よりソカバナ線七百五十キロの奥地にあり、汽車にて二十三時間を要す。之はブラジル拓殖組合の經營にして、面積一万三千アルケールあり。現戸數一千五百、人口約一万を有し、邦人最大の移住地である。此處は棉花の本場であり、又養蠶の盛んな爲に有名である。バストスは製糸工場、絹織物工場、製綿工場、コーヒ製選工場、製材工場、製油工場、製煉瓦工場等軒を並べ、煤煙は天を覆ひ、機械の音は物凄く晝夜兼行で働いて居る。又學校は八ヶ所殖民者の爲にあり、整備せる病院、産業組合、ブラ拓銀行等があり、遺憾なきを期して居る。バストスの市街地は最近ソカバナ線、パウリスタ線の兩鐵道の注目する所となり、市街地、各驛を設け將來の鐵道延長を準備中であるが、汽車開通の曉はコリ、アに次ぐ大都會となる体制を作りつゝある。バストスの市街は東西一キロメートル、南北二キロメートルであり、市街の内、ルア・イツペー街とルア・ペローパー街並に工場街等が繁華である。街には大商店、ホテル、パール、各種各様の商店があり、又電話、電信があり、自動車路は四通八達して實に殷賑を極めて居る。

バストスは前述の如くブラジルに於ける日本人町として其の名高く、従つてブラジル政府も注目する處であり、洲統領其の他の高官が再々視察に來られ、又日本出先官憲に於かれても時々御來殖される。



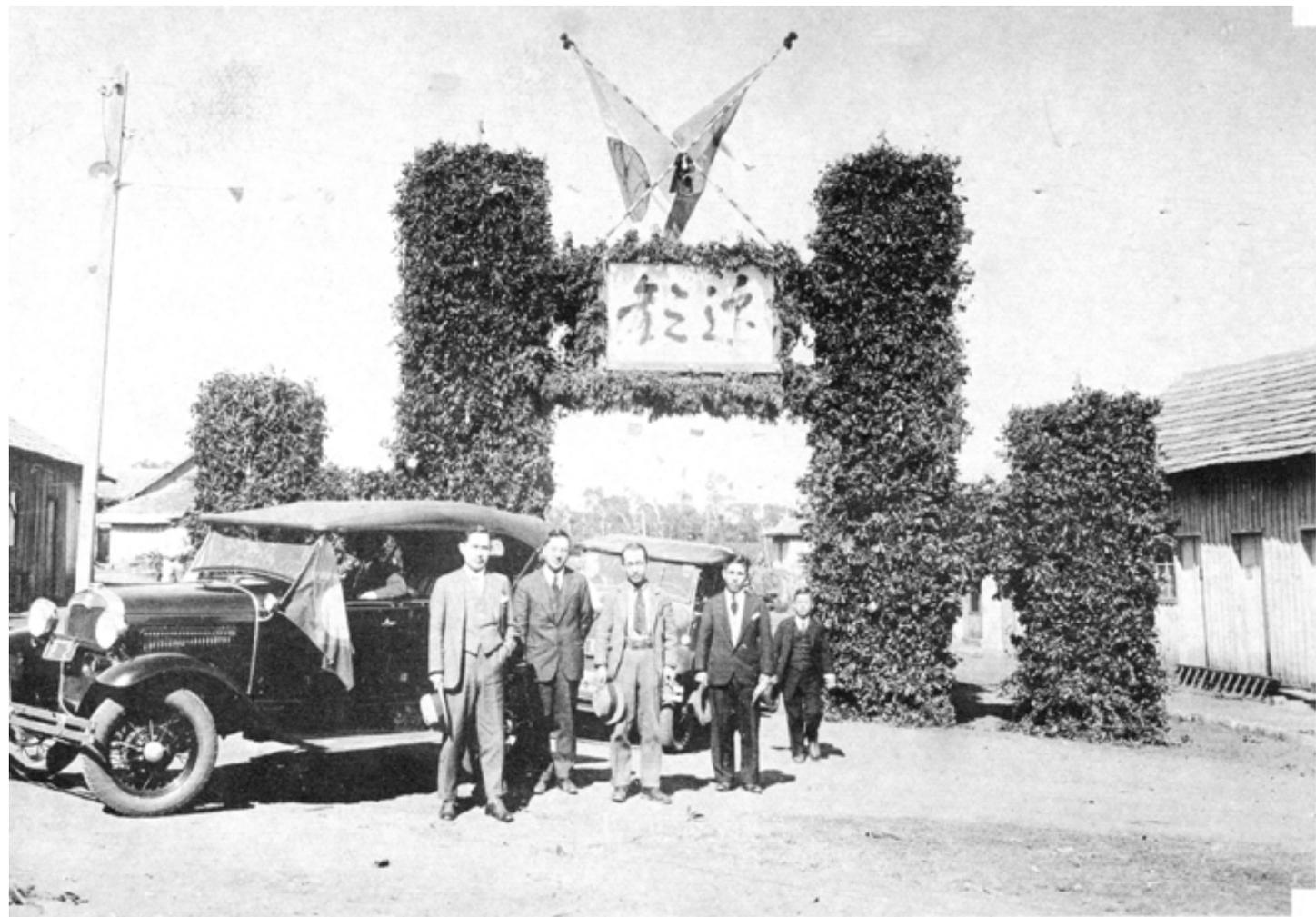
面正の院病地住移ストスパ



月十年五三九一・念記殖來御領統州ロウバンサ



街パーロペ・アル地街市ストスバ



前林久次郎大使閣下御來蹟記念・一九三二年



ロキ六りよ街 瀧のタツカスカ所名ストスバ



てしにトーリクンコ筋鐵は梁橋本觀偉の橋テンエリオるせ設架に地住移テエチ
リなのもるたし要をストンコ〇〇二一資合伯日

以下は2に収録



瀧の川テエチるな名有で洲聖